

～こどもたちの生きる力を育む、切れ目のない発達支援を考える会～

平成29年度 明照保育園 公開保育

～心の豊かさ、心の強さの原点「乳幼児教育」～

今年度のテーマ

～保育に見る

非認知的な心の力～



平成29年8月22日（火）

社会福祉法人 明照保育園

幼保連携型こども園 明照保育園

明照児童クラブ



こども
まっけたよ♪

★目次★

- p 1 本日の流れ
- p 2 園内案内図&本日の活動マップ
- p 3 本園の概要（地域に向けて）
- p 4 テーマ「保育に見る、非認知的な心の力」
- p 5 指導演 0歳児（あか組）
- p 9 1歳児（そら組）
- p 12 2歳児（ゆき組）
- p 15 3歳児（ほし組）
- p 18 4歳児（はな組）
- p 23 5歳児（つき組）
- p 29 児童クラブ（第1・2・3）
- p 35 こども食堂「おとなりさん」
- p 37 子育て支援「つばめっ子」
- p 41 親支援「おやくる」
- p 43 公開保育参加者名簿

本日の公開保育 流れ

8:30 受付

★1階センターホールにて、本日の資料とネームプレートをお渡しします。

9:00 ♪全体会♪

★2階遊戯室にて、本園での保育実践の取り組みについて、報告させていただきます。

9:45 ♪保育公開♪

★資料内の案内をご覧になり、園内をご自由にご参観ください。

★遊戯室の舞台及び壁面の作品は、豊橋創造大学短期大学部、幼児教育・保育科加藤研究室と連携し「ちいさな黄色い手紙展」に向けて作成したものです。

★本園の研究資料（アーカイブズ）を展示しています。

★遊戯室にて、フリードリンクコーナーを設けています。おくつろぎください。

12:00 ♪ランチバイキング♪

★遊戯室にて、パンバイキング等のランチをセルフサービスにてご利用ください。

★本園の学年チーフも同席させていただきます。楽しく語らいながら召し上がってください。

13:00 ♪交流会♪

★児童クラブによるパフォーマンス発表

★参加者と保育者の交流

～子どもと家族を支援するネットワークについて、仮想事例を通して～

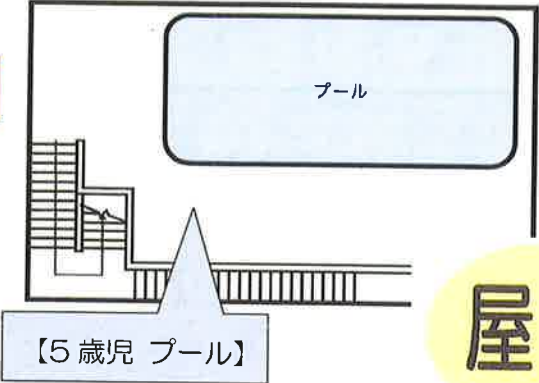
14:30 ♪まとめ♪

★ビデオ視聴 昨年度末の年長児の卒園の姿と児童クラブの様子をご覧ください。

★今後の保育のために、アンケートへのご記入よろしくお願ひいたします。

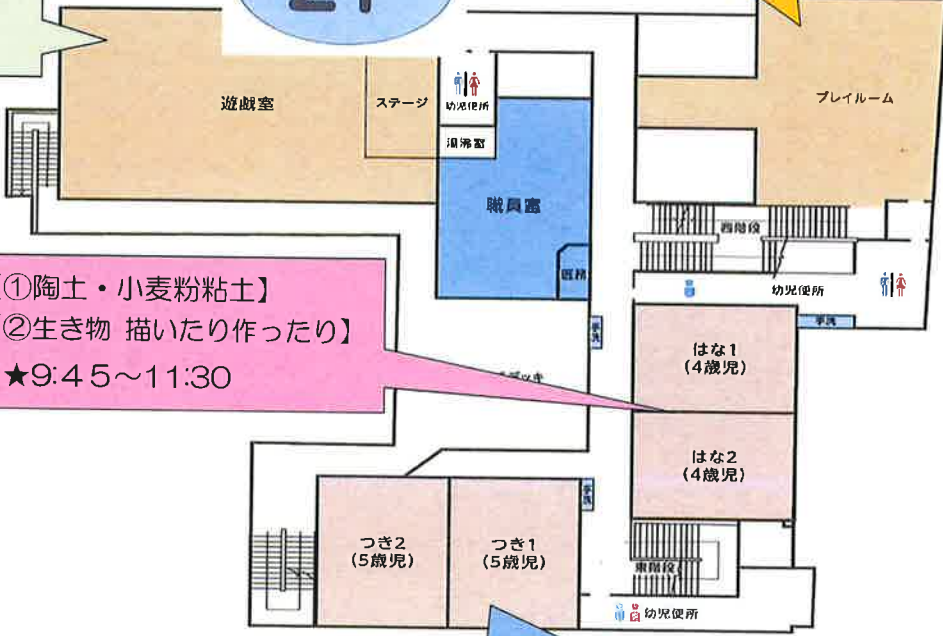


屋上



【5歳児 プール】

2F



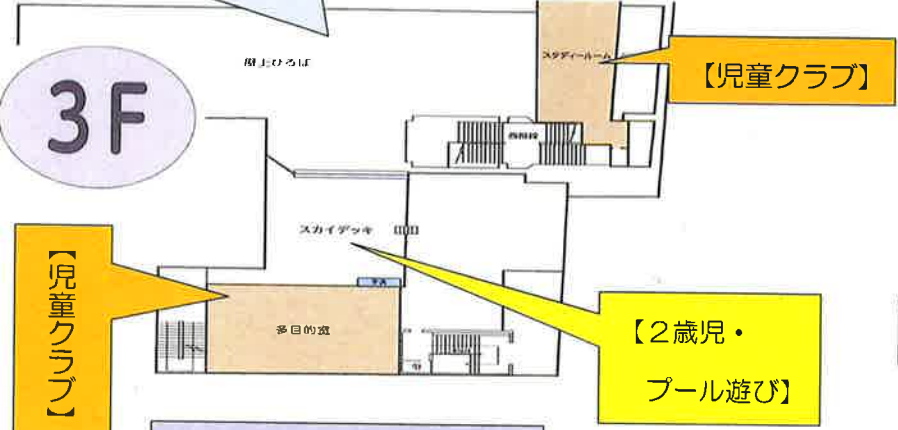
【児童クラブ】

【①陶土・小麦粉粘土】
【②生き物 描いたり作ったり】
★9:45~11:30

【夏野菜模写→クッキング】
★9:45~11:45

【5歳児・集団遊び→プール】 ★9:30~11:00

3F



【児童クラブ】

【児童クラブ】

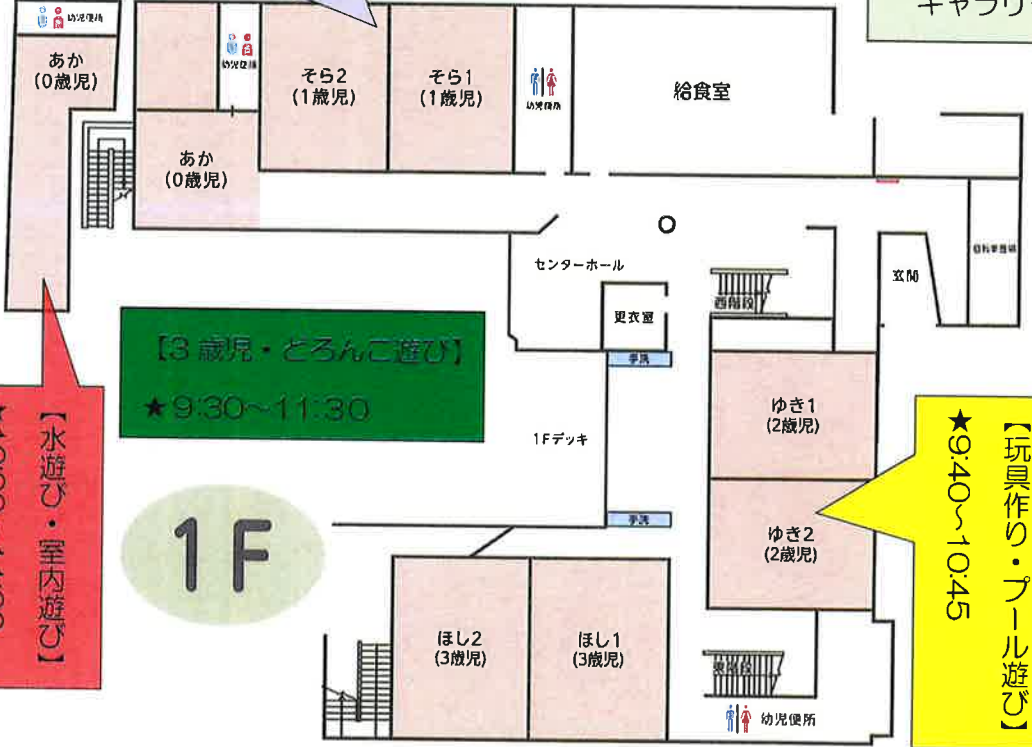
【2歳児・プール遊び】

【ねんど遊び・室内遊び】
★9:50~10:50

【全体会・ランチ・ギャラリー】

12

1F



★10:00~11:00
【水遊び・室内遊び】

【3歳児・どろんこ遊び】
★9:30~11:30

★9:40~10:45
【玩具作り・プール遊び】

社会福祉法人



めいししょうほいくえん
明照保育園



幼保連携型認定こども園 明照保育園

〒441-8093 豊橋市牟呂中村町6-1
Tel 31-1419 Fax 31-1499
<http://www.tcp-ip.or.jp/~meisyou/index.htm>

理事長 & 園長 中島 章裕

かわいいとは、
ホームページに
とんとんアクセス
してね!

見学どうぞ
(連絡してね!)

『心身ともにたくましく、思いやりのある子ども』

★豊かな感性と心情、まわりのものへの関心や意欲、
人との温かい関わり合いの中で生きていく姿勢を育みたいと思います。★

【養護】

ひとりひとりの個性を見つめ、
情緒の安定を図り、温もりのある
保育をします。

【生活・遊び】

生活リズムを大切にし、自己活動と、友だちと
協調できる活動を、生活や遊びを通して
総合的に経験するようにしています。

【文化的活動】

個々の特性に応しなが、発達課題を
配慮している様々な体験ができる
環境を整えます。

◇小学校区 主に牟呂小学校と汐田小学校

◇定員 285名(1号15名含む)

◇職員状況 園長・副園長 各1名

◇園児数 (H29.8.1現在)

主幹保育教諭 1名 保育教諭 49名
調理員 7名 事務員等 1名

年齢	0	1	2	3	4	5	合計
人数	12	41	41	52	56	54	256

◇基本保育時間 平日 8:00~16:00 延長保育 平日 7:00~19:00
土曜日 8:00~12:00 土曜日 7:00~12:00

◇施設について(敷地面積 1,615.17㎡)

園舎 鉄筋コンクリート造3階建 延べ 1,876.75㎡

◇一年の行事・保育・家庭との交流

4	◎入園式 ○始業式 ◎家庭訪問 ◎総会
5	◎親子遠足 ◎保育参加(学年ごと) ○内科健診 ○歯科健診
6	◎フリーマーケット ◎個人懇談会
7	○七夕会 ○年長児宿泊保育
8	◎夕涼み会 ○夏季保育
9	◎祖父母のつどい
10	◎園内運動会 ○内科健診 ○いもほり・焼きいもパーティー
1	◎明照まつり(ハザ-) ○七五三宮参り ◎年長児おわかれ遠足
12	◎作品展 ○クリスマス会 ○もちつき
1	○おめでとう会 ○保育参加
2	○節分豆まき(園内・校区交流)
3	◎遊戯会 ◎卒園児保護者会と三世代交流会 ○お別れ会 ○お茶会 ◎卒園式 ○修了式

が保育に参加する「なかよし保育」を行っています。
・身体測定・誕生会・避難訓練・交通安全指導(毎月)
・検便と検尿(年1回)・健康診断(年2回)・歯科健診
・◎印は、ご家庭の方も参加する行事です。
・定期的には、園のバスで園外保育に出かけます。
・未入園児家庭を対象に定期的に、年齢ごとの『親子
ひらけ』と園庭開放を順番に行っています。
・月1回土曜日に、小学生以上の子どもや地域の大人

◇保護者との連絡・交流

- ・園だより(学年だより) ・保健だより
- ・献立表 ・早起きカレンダー
- ・お知らせ文&メールの配布(掲示)
- ・送迎時の懇談 ・個人懇談会
- ・“お知らせくん”…クラスの毎日の保育の様子を、その日のうちに保護者の携帯電話に配信します

◇家庭との交流

- ・映像による園だより『明照げんきっ子ビデオ』(無料貸出)
- ・四季折々の行事 ・育児相談 など

◇食物アレルギーについて

- ・医師の指導の下、除去食・代替食等に対応しています

◇入園時の諸経費

- ・園服園帽 ・保育教材 等

◇特別保育の実施状況

- ・時間延長保育 ・子育て支援事業

◇通園バス なし(園外保育用のみ)

赤ちゃんから年長さんまでが集う保育園に、下校後の児童クラブも併設され、集団ならではの良さを生かし、『みんなでいる楽しさ』を経験する場を大切にしています。また、未就園児家庭への子育て支援も積極的に行い、生活リズムや食育などの情報提供を行っています。ご家族の方との交流はもちろん、地域や小中学校との温かいかわりの中で、文化を大切にしつつ、四季折々の保育をすすめています。運動面、絵画造形面、食育の面等から子どもの成長を支えられるよう、職員全員で連携をし、一人ひとりの豊かな成長を見つめていきたいと思っています。

研究テーマ「保育に見る、非認知的な心の力」

～乳幼児教育を土台とした、小学校への接続まで～

非認知的な心の力（非認知能力）

『自己と社会性の発達』～心情・意欲・態度～

★自己にかかわる心の力

自尊心…自分を愛し自信を持つ
自制心…衝動を抑えコントロールする
自発性…自分から意欲的に取り組む
自律性…自分で決めて行動する

★社会性にかかわる心の力

心の理解能力
共感性・思いやり
協調性・ルールを理解し守る

平成30年度施行 教育・保育要領より

「幼児期の終わりまでに育ってほしい10の姿」



【学校教育で育成すべき資質・能力】

- ①知識及び技能の習得
- ②思考力，判断力，表現力等の育成
- ③学びに向かう力，人間性等の涵養

【0歳児】 あか 12名(男 7、女 5)

<1年のテーマ “のんびりのびのび おおきくなあれ” >

ゆったりとした雰囲気の中で安心して過ごし、一人一人の発達に合わせた援助をすることで、子どもが持つ力を発揮し、成長できるようにする。家庭と手を取り合い、協力して子どもの育ちを支えていく。

- ・よく食べ、よく遊び、よく眠るというリズムを大切に、家庭での生活リズムと保育園の生活リズムを無理のないように整えていく。
- ・子どもが表す小さなサインを見逃さず、思いにこたえていくことで、愛着関係を築き、人への信頼感を大きくしていく。
- ・早朝、延長保育になる子が多いため、連絡ノートでのやり取りを通して、保護者が安心できるような環境を作るように心がけている。保護者一人一人の戸惑いや不安、喜びに共感しながら子どもの成長を伝えあい、喜び合っていく。
- ・離乳食の時期であるため、一人一人に合わせた調理の仕方に対応している。入園前に「食べ物しらべ」を配布し、食べられるようになったものに〇をつけてもらい提出してもらっている。月に1度「食べ物しらべ」を家庭に持ち帰り再度確認してもらい、保育園での食べる様子を伝えていくことで、連携して進めている。

<入園当初からの成長>

- ・保護者の就労開始に合わせて入園時期が異なるため、入園当初は保護者と離れる不安や生活リズムの違いから情緒不安定な姿が見られ、保護者も心配する様子からのスタートである。保護者から家庭での生活の様子を聞きながら、一人ひとりの生活リズムに合わせて園の生活になじめるようにしている。

生活リズム

- ・一人一人の生活リズムや発達段階に合わせた関わりの中、保育者との信頼関係ができ、安心して過ごす姿が見られる。毎月、新入児がいる環境の中で、継続児とのスキンシップを多くとり、情緒の安定を図るようにしている。

食事

- ・入園当初は食べさせてもらうことが多かったが、給食室と連携し、手づかみ食べしやすい大きさや調理方にしてもらい、手づかみで自分で食べることを大切にしてきた。手づかみで食べることを十分行うことでスプーンに興味を持つようになってきた。今後も自分で食べたという満足感を感じられるようにしていく。

思いを表す

- ・入園当初は泣いて表現することが多かったが、その思いを言葉で表して受け止めていくことで、表情も豊かになり、態度や声、喃語など様々な方法で表現するようになってきた。

社会性

- ・朝や帰りの自由遊びの時間には、年長児が遊びにきている。優しく遊んでもらい、元気に遊ぶ年長児を見るのも刺激があるようで、年長児が遊びに来ると嬉しそうな表情で関わろうとしている。

運動

- ・安心できる環境でたくさん体を動かして遊べるようになり、ずりばいからははいはい、つかまり立ちから一人歩きと一人ひとりの発達が見られ、自分なりの移動手段でお気に入りの場所や友達や保育者のいるところに移動したり、探索活動をしたりして楽しんでいる。

興味・関心

- ・砂遊びや絵の具遊びや水遊びなど、経験を重ねていくことで一人一人の遊び方で楽しめるようになってきている。それぞれの遊び方を大切にしながら、新しい遊びに誘いかけていき、好奇心ややってみようという気持ちを育てていく。

<ねらいたい子どもの育ち>

- ・ 保育者と一緒に水遊びを楽しみ、水の感触に親しむ
- ・ 指先や全身を使って遊ぶことを楽しむ。

<ねらいを達成するための活動の流れ>

【砂遊び】(4月～)

- ・ 戸外で砂に触れて遊ぶ。

- ・ 保育者と一緒に砂で遊ぶことを楽しむ。
- ・ 手や指先、全身で砂の感触に親しむ。



【絵の具遊び】(4月末～)

- ・ 手形をとる
- ・ フィンガーペインティング

- ・ 保育者と一緒に絵の具の感触に親しむ。



【水遊び】(8月22日)

- ・ ビニールプールで水遊びをする

- ・ 保育者と一緒に水遊びを楽しむ。
- ・ 水の感触を味わい、気持ちよさを感じる。



【フィンガーペインティング】(9月)

- ・ 指や手で絵の具に触れて遊ぶ

- ・ 手や指先、全身でぬるぬる・ぺたぺた等の感触を味わう。
- ・ 保育者と一緒にフィンガーペイントを楽しむ。



砂遊び、たのしいね。



お水、きもちいいね。



おもしろなおもちゃ、
みつけた。

◎主活動 「水遊び・室内遊び」

○本時のねらい			
・保育者と一緒に水遊びを楽しむ。 ・好きな遊びを楽しみながら、手や指を使って遊ぶ。			
時刻	環境・準備	予想される子どもの活動	援助・配慮
10:00	<p><水遊び・場所></p> <ul style="list-style-type: none"> ・保育室横テラス ・保育室（ひよこ） <p><準備するもの></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ビニールプール ・たらい 	<p>○保育者の近くに座り、保育者と一緒に手遊びや歌を歌う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・保育者の歌に合わせて体を動かして楽しむ。 ・順番に水着に着替え、テラスで体をお湯で流す。 	<ul style="list-style-type: none"> ・保育者と一緒にうたをうたったり手遊びをして、水遊びを<u>楽しみに</u>できるようにしながら水遊びの着替えをする。 ・複数の担任間で連携をとり、着替え、水遊び、水遊びをしない子のそばにつき子どもが安心して活動に参加できるようにする。
10:10	<ul style="list-style-type: none"> ・ペットボトルの玩具 ・スポンジ ・水の入った袋 ・水風船 ・シャボン玉 <p>○十分体を動かせるようスペースを広く取る。</p>	<p>○水遊びをする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ビニールプールやたらいに入っ て遊ぶ。 ・バケツ等玩具に興味を示し遊ぶ子もいる。 ・手でパシャパシャと水をたたくことを楽しむ。 ・不安になり泣けてしまう子もいる。 <p>○水遊びができない子はテラスで水の玩具で遊ぶ。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・たらいの中の水風船や袋に触れて遊ぶ。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「きもちいいね」と優しく声をかけながら体にお湯を流し、<u>安心して</u>水遊びができるようにする。 ・遊びながら楽しく水に触れる中で、自然と水に親しめるようにする。 ・「ぱしゃぱしゃ」「ジャー」「気持ちいいね」と言葉を添え、水の感触を味わえるようにする。 ・水遊びができない子も水の玩具で遊び、水の様々な感触を味わえるようにする。 ・保育者が表情豊かに玩具に触れることで子どもも<u>触ってみたい</u>という思いが持てるようにする。 ・「きもちよかったね」と優しく言葉をかけ着替えをし、水分補給することで気持ちよさを感じられるように据える。
10:30	<p><室内遊び・場所></p> <ul style="list-style-type: none"> ・保育室 <p><準備するもの></p> <ul style="list-style-type: none"> ・転がす玩具 ・くっつけたりはがして遊ぶボード ・引っ張る玩具 ・破く玩具 	<p>○体をお湯で流す。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・体をふき、服を着る。 <p>○水分補給</p> <p>○保育室でゆっくりと遊ぶ。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・興味のある玩具に<u>自分なりの移動手段</u>で近づき、触ったりする。 ・保育者の顔を見たり、喃語で話したりする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・着替え、水分補給、玩具で遊ぶ子それぞれに保育者がつくよう連携をとり子どもが安心できるようにする。 ・一人一人の好きな玩具や遊び方を大切にしながら、色々な遊びに興味を持てるよう誘いかけていく。
11:00	<ul style="list-style-type: none"> ・牛乳パックのかご <p>○一人ひとりが遊びを楽しめるよう玩具の数を十分用意しておく。</p>	<p>○片付けをする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・保育者のまねをして、ボールを袋に入れて片付けようとする子もいる。 ・玩具を片付け、畳に集まり保育者のそばに座る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもの<u>小さなサイン</u>を見逃さず、やさしく見つめたり、微笑んだり、言葉で応答していく。 ・保育者が楽しそうに片付けることで、子どもが<u>やってみよう</u>と思えるようにしていく。 ・「たのしかったね」「また遊ぼうね」と言葉で伝え共感し、満足感につなげていく。

《評価のポイント》

- ・一人ひとりが水の感触を味わい楽しむことができたか。
- ・子どもの様子や状況に合わせて、遊びの環境や援助を柔軟に対応できたか。
- ・子どもが安心して遊びに参加できるよう、着替えから遊び、片付けまで保育者同士での連携がとれていたか。

【1歳児】 そら1組 20名(男11、女9) そら2組 21名(男11、女10)

<1年のテーマ “手のひらを そらに 焔” ~どんなそらが見えるかな~>

- ・歩き始めから、歩く、走る、とぶという基本的な運動機能や つまむ、めくる、やぶる、丸める、描くなど指先の機能が発達していく時期であり、子どもの発達に合った様々な遊びや、保育者や友達と一緒に居られる環境を整え、取り組もうとする意欲がもてるようにする。
- ・自分でやろうとする気持ちが芽生えてくるので、主体性や好奇心を尊重しつつ、その行動を温かく見守り、「出来たね」、「大丈夫だよ」など励ましたり、手を添えたりしながら、自分でやれたという満足感を味わい、自立心を育てていくようにする。
- ・言葉の発語も見られ、先生を呼んだり、「いや」「まんま」などの片言や「ママ来た!」「外行く」など一語文が出たり、ことばで言い表せないことは、指さしや身振りなどで示し、自分の気持ちを伝えようとする時期なので、保育者は言葉にして返したり、また、友だちへの関心も芽生えてきてくるので、子ども同士のかかわりも育む。
- ・早朝、延長保育と、園で長い時間過ごす子どもが多く、送迎時、連絡ノート、メールなどを通して、保護者と連絡を密にとり、子どもの体調や、園での様子を丁寧に伝え、信頼関係を築きながら、子どもの成長や発達の喜びを共に味わっていくことを大切にする。

<4月からの成長>

生活リズム

- ・生活のリズム(食べる、眠る、遊ぶ)に慣れ、落ち着いてきている。子どもの体調や家庭での様子を聞きながら、情緒の安定を図り、「食欲、機嫌、排便」などの姿がいつもと違うことに早く気づき、丁寧な対応を心がける。

自我のめばえ

- ・自分でやりたいという気持ちが出てきて「自分でやる」と、ズボンを履く、パジャマや洋服を着る、脱ぐ、たたもうとする姿も見られる。まだ、上手には出来ないが、出来るところまで見守ったり、援助しながら、自分でできたという満足感を感じることで、意欲をもって取り組めるような気持ちを育てていきたい。

食 事

- ・自分で食べる喜びが感じられ、様々な味に親しんだり、進んで食べようとし、食器についたおかずやごはんを「あつめて」と伝え、きれいに食べることが出来た食器を見せながら、うれしそうな表情や「おかわり」「おいしいね」などと言葉を発して、保育者や子ども同士で共感している。また、あいさつや手洗いなどの生活習慣を日々行うことで、あいさつやきれいにすることの気持ちよさを感じ、清潔にすることの大切さ知らせていきたい。

表 現

- ・クレヨン、粘土、絵の具、フィンガーペインティング、足型、手型などの遊びを通して、様々な画材や素材に触れ、感覚や表現を楽しみ、指先の機能の発達により、紙を丸める、やぶる、貼る、なぐり書きをしたりするようになり、自分のしたい遊びを楽しんだり、また友達や保育者と一緒に絵本やお話を興味深く見たり、手遊び、リズム遊びなどを友だちや保育者と親しみ、「もう一回」と繰り返し楽しむ姿がある。

運 動

- ・滑り台をすべる、飛ぶ、飛び越える、ボールを蹴る、投げる、鉄棒にぶら下がるなど、運動機能が伸び、自分の身体を思うように動かすことが出来るようになってきている。身体を使った遊びを一年を通じて子どもの身体機能を高めていけるよう取り組んでいきたい。

人とのかかわり

- ・友達との遊びや生活の中で、友達を意識するようになり、遊具の貸し借りや手伝いをしたい、同じ遊びをしたいなど、自分の意志や欲求を言葉で表そうとすることなどにより、自我が育っていくが、「自分で」「いや」と自己主張をすることもある。保育者が自我の育ちを受けとめることで子どもは自信を持ったり、時にすべてが受け入れられるわけではないことに気づいていく。時間をかけて自分の感情を鎮めて気持ちを立て直していけるように見守る。

<ねらいたい子どもの育ち>

- ・いろいろな遊びを通して、手や指の感覚を豊かにしながら、友だちや保育者とふれあう楽しさを味わう。

<ねらいを達成するための活動の流れ>

【感覚的なあそび】(4月～)

- ・粘土遊び
- ・砂遊び
- ・シール貼り



【色塗り遊び】(7月)

- ・大きな長い紙に絵具で色を塗ったり、紙皿にフィンガーペインティングをする

【水あそび】

粘土や砂の感触を味わいながら、思いを表現し、友達や保育者と共感する。

指や手を使い、つまんだり、並べるなどシール遊びを楽しむ。

絵の具の筆や指や手のひらを使って、伸ばしたり、塗る楽しさを味わう。

水の感触を全身で味わい、友達とのびのびと遊ぶ。



【粘土遊び】(8月22日)

- ・粘土を丸める、のばす、ちぎる、並べて遊び。

粘土の感触を味わいながら、いろいろな形の変化を楽しむ。

ことばや思いを表現しながら、友達や保育者と遊びの楽しさを共感する。



【パン粉粘土】(9月)

- ・パン粉を丸めたり、こねたり、色をつけて、混ぜる様子を見る。

粘土とは違った感触を味わい、色を混ぜる様子を興味深く見たり、色の変化や色から発想を広げて、身近なものに見立てて遊ぶ。

自分でやる～



その手を上に～キラキラ☆

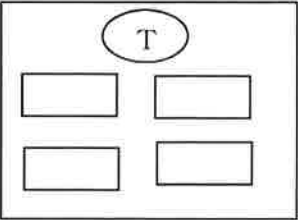


絵の具ペタペタ楽しいね



あゆみノートにシールを貼ろう★

◎主活動 「粘土遊び」

時刻	環境・準備	予想される子どもの活動	援助・配慮
<p>本時のねらい</p> <ul style="list-style-type: none"> 手や指先を使って粘土の感覚や形の変化を楽しむ。 できたものを保育者や友達に見せたり、食べ物に見立てたり、一緒にお弁当を作ることで、楽しい気持ちや感覚を共有しやり取りを楽しむ。 	<p>〈場所：保育室〉</p>  <p>〈準備するもの〉</p> <ul style="list-style-type: none"> 粘土 粘土版 カップ類（ゼリーカップ、箱、コップなど） 粘土箱 	<p>○手遊びをする。</p> <p>○粘土で遊ぶ。</p> <ul style="list-style-type: none"> 指先で粘土を触りながら、年度の感覚を少しずつ確かめる子がいる。 保育者の真似をして、てのひらを使いながら丸めたり、伸ばしたりしようとする。 思い思いにちぎったり、つぶしたりしながら、粘土の感覚や形の変化を楽しむ。 作ったものや、できた形を保育者や友達に見せ、自分の気持ちを伝えようとする。 <p>○粘土を見立てて遊ぶ</p> <ul style="list-style-type: none"> ゼリーカップの中に作ったものを入れて、食べ物に見立てる。 友だちや、保育者が作ったものに興味を持ち、指をさしたり、「あ！あ！」「これ」と興味を持ち、伝えようとする。 <p>○お弁当を作る（片づけ）</p> <ul style="list-style-type: none"> お弁当のうたを歌いながら作ったものを弁当箱（粘土箱）の中に詰め、お弁当を作っていく。 作ったお弁当を嬉しそうに見つめたり、「できた」指をさしたりしながらうれしい気持ちを表現する子もいる。 <p>○お弁当箱の手遊びをする。</p> <ul style="list-style-type: none"> 順番に手を洗う。 	<ul style="list-style-type: none"> 手遊びをし、これから始まる活動に興味を持てるようにする。 伸ばす、ちぎる、丸めるなどの動きを、子どもに寄り添いながら、ゆっくりと行って見せたり、手を添えて行うことで、感覚を感じ楽しんだり、腕や手の動きを感じられるようにする。 無理のないよう、見る→指先→てのひら→握るとだんだんと粘土に親しみ、感覚を味わいながら、形の変化を楽しめるようにしていく。 感覚をともに味わいながら、顔を見合わせたり言葉に出したりして共感していく。 子どもの様子を見ながらゼリーカップや箱を出していき、食べ物に見立て発展させていくことでより粘土に親しみ楽しんでいけるようにしていく。 出来上がったものを見せ合い、お互い作ったものを見ることで楽しさを共有していく。 お弁当のうたを歌うことで弁当箱（粘土箱）の中に楽しみながら粘土を片づけていけるようにしていく。 「おいしそうだね」「上手にできたね」と声を掛け、出来上がった気持ちを共感しながら、達成感を味わえるようにしていく。 楽しい気持ちで活動が終われるように、ミックスジュースの手遊びをする。 近くで見守り、洗い流しがないように必要に応じて援助する。
9:50			
9:55			
10:30			

《評価のポイント》

- 一人一人が粘土の感覚を味わい、十分に遊べていたか。
- 保育者間で連携を持ちながら子どもたち一人一人が楽しめる関りができたか。
- 子どもの気持ちに寄り添いながら、言葉や表情で柔軟に対応し共感することが出来たか。

【2歳児】 ゆき1組 21名(男8、女13)、ゆき2組 21名(男9、女12)

<1年のテーマ “ わくわく・いきいき・のびのび ” >

- **わくわく** …身の回りのいろいろなことに「あれ?」「なんでかな?」と、気づいたり興味をもったりし、関心のあることがたくさんもてるような毎日に…。
- **いきいき** …わくわく感をさらに膨らませて「やってみたい!」「おもしろそう!」「できた!」と、意欲で瞳や心がいきいきと輝くような子どもに…。
- **のびのび** …好きなことに夢中になったり、まわりの楽しさや雰囲気を感じたりし、友達と過ごすなかで自分なりにのびのびと表現できる子どもに…。
- 相手に伝える表現ひとつでも、スキンシップ、表情、動き、言葉、創作…それぞれに得意不得意はあると思うが、試す前から苦手と思わずに、チャレンジ精神を持って子ども・保護者・保育者がそれぞれに育ちあっているような環境作りを大切にしていく。

<4月からの成長>

自立心・情緒の安定

- 布パンツを使いたいという意欲を引き出したり、トイレで排泄できたという喜びから自信につなげたりすることを大切にし、夏を迎える前に全ての子が布パンツでの生活に切り替わり、日中の園生活をパンツで過ごしている。(送迎に近い朝夕の時間帯では、紙おむつと布パンツどちらを使用するかを一覧表にして保護者と相互協力できるよう配慮している。)
- 7月からは、朝、園庭側の門の前で保護者に見送られて降車するドライブスルーでの受け入れを開始し、ひとりで昇降口まで歩いて「おはようございます!」と、元気に挨拶をしながら登園する姿も見られる。

生活する力・考える力

- 毎朝の身支度を自分でできるよう保護者や保育者と4月から一緒に練習し、今では保護者を先に見送り、通園カバンから手拭きタオル・口拭き・出席ノート類を自分で取り出し、それぞれの整頓カゴに向きを揃えて入れようとする姿が見られている。2歳児なりに効率の良い手順に気づく姿もあり、それぞれが自分のペースで頑張る姿が頼もしい毎日である。
- 隣の年少児クラスの食育活動を見学したり、給食を一緒に食べたりするなかで、食前食後のお手伝いにも興味を持ち始め、座席数に合わせて食器を並べたり、使った食器をトレイに載せてバランスをとりながら運んだりしている。失敗することもあるが「じぶんでやりたい!」と、意欲的に参加する気持ちを大切にしている。

豊かな感性・まわりへの関心

- 身近な自然や様々な素材に触れ関心をもち、全身を使って遊ぶ経験をする中で五感を育てたり、お店屋さんごっこや簡単な集団遊びをとおして、友だちと遊ぶ楽しさの芽生えやきっかけを積み重ねたりしている。

人との関わり・言葉による伝え合い

- 1～2組の保育室を行き来しながら、気の合う友達と同じ空間で見立て遊びをしたり、簡単な言葉のやりとりをしたりすることを楽しむ姿が見られる。
- おもちゃを1人で使ってじっくり遊んできた様子が、だんだんと友達との関わりに広がり、友達と大きさを比べたり組み合わせたりし、“友達と一緒にいると楽しい”と、気づき始めている。それと同時に、思いの違いが生じる場面では、自分の思いを態度ではなく言葉で相手に伝える方法を日々の経験のなかで学んでいる。

<ねらいたい子どもの育ち>

- 水の不思議さおもしろさを感じながら、のびのびと水遊びを楽しむ。
- 保育者や友達との言葉のやり取りをしながら、一緒に遊ぶ楽しさを味わう。

<ねらいを達成するための活動の流れ>

【水遊びに慣れる】(6月末～7月)
 • ピニールプールで水遊び
 • 水滴あつめ、シャワーくぐり

- 水に触れたり、浴びたりすることを楽しむ。
- シャワーの水を容器に集めたり、水滴を眺めたりして水に親しむ。



【夏の遊びを楽しむ】(7月～8月)
 • 泥んこ遊び
 • 水遊び、大プール遊び
 ワニ歩き、

- 友達や保育者と一緒に、泥やシャワーの感触を肌で感じる。
- テラスや屋上で全身を使って水遊びをし、水の面白さや気持ちよさを感じながら楽しむ。
- 年長児が作った水遊び用おもちゃを交代で使って遊ぶ。



【道具を使った水遊び】(8月22日)
 • シャワー作り
 • 手作りシャワーで遊ぶ

- 手作りシャワーで遊びながら、水の不思議さや変化のおもしろさに気付く。
- 道具を使った水遊びをとおして、友達の様子を意識したり、まわりの人と会話をしたりする。



【遊びを主体的に楽しむ】
 • 楽しいと思う遊びを見つけて遊ぶ
 • 友達と関わりながら楽しむ

- 好奇心を持って遊びを楽しもうとする力を育む。
- 友達と組み合わせたり比べたりして、会話や刺激をしながら楽しく遊ぶ。



おやつはトウモロコシだよわ！はらぺこあおむしだ～



がんばって～
もうすぐ私の順番だね！

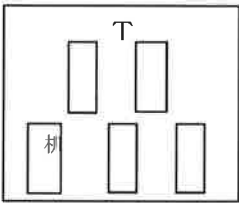
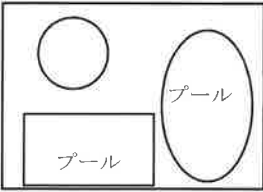


いっしょにいれてみよう♪



ここ、ふによふによする～
ふしぎでおもしろいよ！

◎主活動 「シャワー玩具づくり」「水遊び」

時刻	環境・準備	予想される子どもの活動	援助・配慮
本時のねらい ・自分で作った玩具で遊ぶ期待感や楽しさを味わう。 ・玩具に水を入れたり、穴から出る水を触ったりするなど様々な遊びを楽しむ。			
9:40	<場所> ・保育室 <準備するもの> ・ペットボトル ・油性ペン ・机用シート 	○水遊びの玩具を作る。 ・保育者の話を聞いて、作りたい <u>気持ちが高まる</u> 。 ・自分のペットボトルを受けとり、好きな色のマジックを選び <u>模様や線を描くことを楽しむ</u> 。 ・保育者が事前に開けた穴に気づき、「あながあいてるねー」と友達や保育者と会話をする。 ・できた玩具を机の上に置き、トイレに行く。 ○水遊びの支度をする。 ・自分の脱いだ衣類をたたんで、プールバッグの中にしまい、水着に替える。 ・水遊びが始まることを <u>楽しみにして移動する</u> 。	・導入や話など、保育者が楽しそうにすることで気持ちを高められるようにする。 ・ペンを使ったらふたをしめることやもとに戻すなど教材の使い方も伝えていく。 ・ペットボトルに描いている子ども達を見守りながらも、空いているところに「ここには何を描こうかな？」など更に <u>気持ちが高まる言葉掛け</u> をする。 ・複数担任で連携を取り、トイレ、着替え、プールの準備等に分かれて子どもが安心して活動に参加できるようにする。 ・衣類を丁寧にたたんでから、プールバッグにしまうように声を掛け、自分で支度ができるところまで見届けながら様子を見て援助していく。 ・水遊びに期待が持てるように言葉かけや導入をしていく。
10:05	<場所> ・スカイデッキ <準備するもの> ・ビニールプール ・ホース ・洗面器など 	○水遊びをする。 ・作った玩具に水を入れて穴から <u>水が出ることを楽しむ</u> ・反対の手で水を触って <u>水の感触を味わう</u> 。 ・友達や保育者にも水をかけたり、プールの中に座ったりするなど <u>全身を使って水遊びを楽しむ</u> 。	・「冷たいね。」「気持ちがいいね。」などと保育者も一緒に水の感触を言葉にして <u>伝え合いながら、友だちと思いを共感できる雰囲気を作っていく</u> 。 ・道具を使った遊びの楽しさを保育者が見せることで、少しずつ遊びを発展していくようにする。 ・子ども達の思いや水遊びを十分に楽しめたことに共感しながら、遊びから片付けへと <u>気持ちの切り替えができるように働きかけていく</u> 。
10:35	<準備するもの> ・玩具を入れるかご ・水着入れバケツ ・足ふきマット ・からだ用タオル	○片付けをする。 ・自分で作った玩具(ペットボトル)を、かごに入れ片付けをする。 ・水着を自分で脱ぎ、バケツの中に入れる。 ・保育者に手伝ってもらいながらタオルで体を拭き、着替える。	・自分で作った玩具を手放してどこかでなくしてしまう子もいるので、その都度声を掛けていく。 ・使った道具を片付ける・体を拭く・着替え等がスムーズに行えるように保育者がそれぞれ必要なところに位置し、子どもの動きに応じて声を掛け合い対応していく。

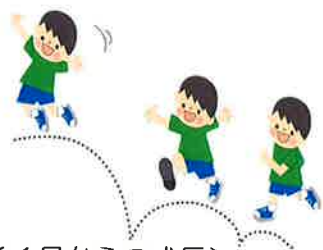
≪評価のポイント≫

- ・自分で作った玩具で遊ぶ期待感を膨らませ、積極的に遊ぼうとするきっかけづくりができていたか。
- ・シャワー遊びをとおして、友達の様子を意識し、まわりの人と会話をして楽しむことができていたか。
- ・水の不思議さや変化のおもしろさを感じられる遊びや学びの環境をつくることができていたか。

【3歳児】 ほし1組 26名(男 16、女 10) ほし2組 26名(男 14、女12)

<1年のテーマ “ジャンプ!!!” >

- ・**自分でジャンプ!**→身の回りのことを何でもやってみたい!という自発的な気持ちを大切に、丁寧に生活習慣を身に付けていく。そこで感じる満足感を十分味わい、子どもがなるべく主体的に取り組めるように配慮していく。
- ・**手を繋いでジャンプ!**→様々なことを友達とダイナミックにチャレンジすることを通して、一緒に遊ぶ楽しさや面白さを味わえるようにしていく。その中で「もっとこうしたらどう??」という子ども達の工夫する力を大切にしていく。
- ・**せ〜のでジャンプ!**→自分のことに自信が持てるようになり、友達へ興味関心が出てくる時期に、「聞いて!聞いて!」「なに?なに?」と受け止めてもらえる嬉しさを感じ、うまく伝わらなかった時には「なんでかな?」と時には保育者が仲立ちとなりながら一緒に考えていけるようにしていく。



<4月からの成長>

生活する力

- ・今年度は継続児のみでのスタート♪「ぼく、お兄ちゃんになったから!」と進級したことを喜び、何事も「自分でやってみたい!」と意欲的に取り組み、ロッカーの整理整頓や身だしなみ、姿勢の維持など基本的な生活習慣を意識して生活する姿がある。その中で、うまく出来ない時には「どうしたら出来るかな?」「こうやってみよう!」と自分で行うために保育者と一緒に考えることで、「一生懸命やれば出来るんだ!!」とより大きな満足感を味わう様子へと変わりつつある。

かかわる力

- ・自分で何でも出来るという自信から自分以外への興味が広がり、友達との関わりが増えている。自分の思いを言葉にして伝える姿があり、戸外遊びでは保育者と一緒に園庭を走り回りしっぽとりを楽しむ姿や「これください。」「ケーキが出来ましたよ〜!」とお店屋さんごっこの中でやりとりすることが楽しくて仕方がない様子。
- ・安心して自己主張が出来るようになったことで、友達とぶつかる様子があるが保育者の見守りの中で「こうされたら嫌だな。」「こうして欲しかったよ。」と相手の話を注意して聞いたり、伝え合ったりするようになってきており、思い切り気持ちをぶつけ合ったその後は気持ち良く仲直りをして、また遊びへと移行する姿が増えている。

学ぶ力

- ・身近な生き物(あおむし、かたつむりやカエルなど)を飼育観察し触れたり、世話をしたりすることでより興味が湧き、気付きや思いを言葉にして伝え合い、そこからイメージを共有し、大きな紙を使ってダイナミックに絵を描いたり、うたを歌ったりしながら思い切り表現することを楽しむ姿が見られる。
- ・砂や寒天、水や炭酸水など、それぞれの面白さや不思議さを感じながら、性質を知ったり味わう中で、気付いたり発見したことを友だちと言葉や表情などで伝え合う様子がある。



ピカピカにするよ〜!!
まかせて!!
<掃除・雑巾がけ>



ダイナミックお絵描き



いい匂いがするね♪
おなかすいたね♪
<給食の配膳>

<ねらいしたい子どもの育ち>

- ・作りたいものをイメージして手順や方法を考えようとする。
- ・友だちと積極的に関わりながら、思いを伝え合い喜びや楽しさを共感する。

<ねらいを達成するための活動の流れ>

【お店屋さんごっこ】(5月～)

- ・砂やブロックなどを食べ物に見立ててお店屋さんごっこをする。

- ・役になりきり、お店屋さんごっこを楽しむ。
- ・友達と言葉のやりとりやイメージを共有して遊ぶ楽しさを味わう。



【寒天遊び】(7月)

- ・寒天に触れ、型抜きや形あそびから、お祭りごっこをする。
- ・自分達で片付けをする。

- ・寒天の感触を味わい、形の変化を楽しみながら自分が作りたいものを作ろうとする。
- ・掃除をする大変さも感じながら、友達と一緒にきれいになる嬉しさを感じる。



【どろんこ遊び】(8月22日)

- ・どろんこ遊びをする。
- ・カップなど自分で洗い片付ける。

- ・気の合う友達と一緒にどろんこ遊びをしながら、感触の違いを味わい、全身を使って表現する。
- ・使ったカップや帽子など自分達で片づけたり、洗濯をしたりする。



【粉遊び】(9月)

- ・片栗粉遊びをする。
- ・お店屋さんごっこをする。
- ・最後まで自分達で片付けをする。

- ・指先や手のひらを使って、粉のサラサラからドロドロになる変化を味わい、表現する。
- ・素材の性質を知り、不思議さを感じながら自分で作りたいものを作ろうとする。
- ・自分達でお店屋さんを考え、やりとりを楽しむ。
- ・自分達で出来た！という満足感を感じる。

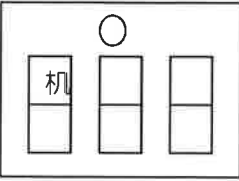


ジュース作る？
どうやって
作るっか??
<寒天あそび>

からだを
動かすって
気持ちいいね♪
<朝の体操>



◎主活動 「どろんこ遊び（透明ビニールに絵を描く）」

時刻	環境・準備	予想される子どもの活動	援助・配慮
本時のねらい <ul style="list-style-type: none"> ・友達と一緒に様々な感触を味わい、全身を使って表現することを楽しむ。 ・片付けや身の回りのことを自分で進んでやろうとする。 			
9:30	<場所>保育室 <準備しておく物> ・どろんこ用パンツ ・どろんこ用帽子 	○どろんこ遊びの支度をする。 ・脱いだ衣類を丁寧に畳み、どろんこ用パンツに履き替え帽子を被る。 ○絵本「どろんこどろんちゃん」を見る。 ・お話の世界に入り込み、これから始まる活動に期待が膨らむ。	・衣服を丁寧に畳むように声を掛け見守る。 ・どろんこ遊びに期待が持てるように声掛けや導入をする。 ・前回のどろんこ遊びでの楽しさを思い出せるような雰囲気作りをする。
9:55	<場所>園庭 ・水たまりと乾いた部分を作っておく、ブルーシートを広げておくなど、砂の変化や感触の違いに気づけるような設定をする。	○どろんこ遊びをする。 ・水たまりの中に寝転んだり、ジャンプをしたりして、思い切り体を動かして遊ぶ。 ・泥や水たまりに触り、感触の冷たさに気付く。 ・スコップや手で掘って川を作り、水が流れる様子を楽しむ。 ・カップの中に泥を入れて、ジュースやケーキに見立てて、友達とやり取りをする。	・泥の感触を楽しみながら、友達と一緒に思いきり体を動かして遊べるように関わる。 ・保育者も一緒に言葉で砂の変化や感触の違いを伝え合いながら、子どもの気付きに共感をする。 ・子どもの様子をしっかりと見守り、遊びが発展するきっかけ作りをする。 ・友達同士のやり取りを大切にしながら、必要に応じて丁寧な関わりを心掛けていく。
10:10	<準備するもの> ・桶、ネットなど ・色泡（色々な色の泡を事前に作っておく） ・筆 ・絵の具、トレイなど	○石鹸や色泡に触れて遊ぶ。 ・色泡の感触を楽しみ、友達や保育者の体に塗って遊ぶ。 ・泡と泥が混ざること面白さを感じる。	・「ふわふわしているね」「やわらかいね」などと保育者も言葉にして伝え合い、感触の違いを共感する。
10:15	<準備するもの> ・補強した透明ビニール	○ポディーペインティングをする。 ・筆を使って絵の具が体につく感覚を楽しむ姿がある。 ・もっと絵が描きたいという気持ちが表れる。	・子どもの様子を見てタイミングや動線を考えながら環境を整えていく。 ・盛り上がる思いを十分受け止めながら、スムーズに次の活動へ移行できるように、事前の環境設定を工夫する。
10:20		○大きな透明ビニールに絵を描く。 ・大きな透明ビニールを見てワクワクした表情を浮かべる。 ・保育者や友達が描いている姿に興味を持ち、描いてみようとする。 ・完成した絵を見て、出来た喜びを共感し、満足感を味わう。	・開放的な中で絵を描く楽しさを味わえるような言葉掛けをする。 ・友達同士の言葉や表情などでのやりとりがより広がっていくよう見守る。 ・満足感や「もっとやりたい!」「またやりたい!」という思いに共感し、次回への期待に繋がる声掛けをする。
10:40	・足ふきマット（タオル） ・たらい2つ	○片付けをする。 ・使ったカップやどろんこ用パンツや帽子を「ごしごし」と言いながら、きれいにすることを喜ぶ。 ・楽しかった思いを友達と話し遊びの余韻に浸る。	・子ども自身が洗えるような環境を整え、片付けがしやすいようにする。 ・子ども達の思いを受け止め、じっくりと共感し合い、もっと自分の思いを伝えたいと思えるよう配慮していく。

《評価のポイント》

- ・感触の面白さや変化を全身で感じながら、友達と楽しむことが出来ていたか。
- ・自分達から興味を持って手伝いやあそびに取り組んでいたか。
- ・「できた!」「もっとやりたい!」と喜びが次への意欲に繋がっていたか。

【4歳児の保育】

はな1組 28名(男 13名、女 15名) はな2組 28名(男 13名、女 15名)

<1年のテーマ『もっともっと!!』>

・意欲に溢れ、やる気に満ちている子ども達の姿から、好奇心や探求心を更に高めて園生活を楽しく過ごしていけるように、このテーマを決めた。

『もっと、遊びたい!を大切に』

・知りたい!見たい!触りたい!好奇心が溢れている今の時期に感じられる体験がたくさんできるような取り組みをしていく。

・チャレンジした姿を認め、失敗しても、次への意欲へと繋げていける関わりを心掛けている。

『もっと元気に!もっと仲良く』

・いつでも、どこでも、誰とでも、元気にあいさつができるようにする。

・友達の良い所をたくさん見つける。気持ちの良い言葉で相手に伝える。

『もっとキレイに!確実に』

・生活の中で「キレイ・気持ちいい」を感じ、一つ一つ行うことへの丁寧さを身につける。

<4月からの成長>

生活する力

・どんなことにも「はい!やりたい!!」と手を挙げる意欲的な姿は、継続されており、どんな活動へも積極的にチャレンジする姿がある。

・隣の保育室の年長児の姿をよく見て刺激を受けている。戸外遊びでの関わりや生活の中での関わりから、お兄さんみたいに出来るようになりたい!という憧れの気持ちが強くなっている。

・保育室の掃除、ロッカーの整理整頓、片付けなど、自分達でできることを一つ一つ、確実に行っている。

・戸外遊びやサーキットチャレンジなど、朝、集会の前に積極的に体を動かすことで、その後の活動への切り替えがとてもスムーズになっていると感じられる。また、マラソンや山登り、公園への園外保育を通して、体力作りにも励んでいる。

かかわる力

・大きな絵を描いたり、みんなで一つの物を作ったりする中で、「できた!」という達成感を友達と共有する姿は、増えてきていると感じる。

・クッキングや集団あそびなど、決められたルールがある中で、友達と力を合わせて行う活動が増えていき、互いに思ったことを話したり、相談しようをしたり、何とか決めようとしたりしてはいるが、上手く話し合うことができない場合も見られている。

学ぶ力

・飼育、栽培している生き物や植物をよく観察し、色々な技法を使って、表現することを楽しんでいる。

・「時計の長い針が〇になったら、片付けね。」など、生活の中で時間を決めて行うことを増やしたことで、時計を見て、気付いた子が周りの子に知らせている場面が見られるようになった。

・アカハライモリやおたまじゃくしなどの飼育、ヒマワリの栽培を通して、身近に感じ、大切にしようとする言動が増えてきた。



カメさんって、可愛い。
甲羅って、硬いんだあ。
仲良くしようね。



はな1組 28名(男 13名、女 15名)

<子どもの様子>

- できること、できたことへの嬉しさから、自分でできることは自分でやりたいという姿が生活の中で見られている。
- 夏のあそびを存分に楽しみ、暑さや涼しさ、熱い、冷たい、気持ちが良い、悪いなど、感じたこと、思ったことを素直に表現している。
- 友達への興味、関心が高まっているように感じるが、今の発達段階は、まだ、認めて話し合う姿よりも、友達の良くないところへ目が向いて、指摘している様子の方が多い。

<ねらいたい子どもの育ち>

- 様々な素材に触れ、違いや性質を感じ、扱い方を知る。
- 人との関わりの中で感じたことを表出し、友達と共感したり、自分との違いに気付いたりする。

<ねらいを達成するための活動の流れ>

【ドーナツ作りをする】(7月)

- 油粘土で、ドーナツ作りあそびをする。
- 給食の先生と一緒に、本物のドーナツを作り、食べる。

- ドーナツの形作りを通して、油粘土と小麦粉との違いを感じる。
- 自分達で作った物を食べる嬉しさや美味しさを感じる。

ドーナツ作り
ワクワク...(◇)



【どろんこあそびをする】(5~8月)

- 全身を使って、泥の感触を楽しみながら、どろんこあそびをする。

- 砂の大きさ、硬さや柔らかさなど、色々な泥の感触を味わう。
- 手だけでなく、全身の色々なところで感じる感覚の違いに気付く。

【陶土でお皿を作る・小麦粉粘土でお寿司を作り、お寿司屋さんごっこをする】 (8月22日)

- 陶土を使って、好きな形のお皿を作る。
- 小麦粉粘土で、お寿司を作り、作ったお皿とお寿司を使って、お寿司屋さんごっこをする。

どろんこ
楽しい~!!
気持ちいい~。



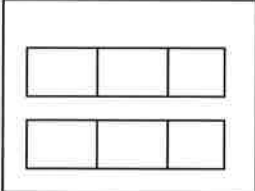
- 小麦粉粘土や油粘土、陶土などの感触の違いを感じる。
- 触っていると、徐々に固まっていく陶土の性質に気づく。
- 作ったお寿司を、自分で作ったお皿に並べたり、食べる振りをしたりしながら、お寿司屋さんごっこを楽しむ。
- 友達と役割を決めて、なりきって遊ぶ。

【焼き物作り】<陶土で生き物を作る> (10月)

- 陶土を使って、生き物を作り、焼き上げる。

- ちぎって作っていく他の粘土とは違い、一つの塊から、形作りをしていく陶土の扱い方を作りながら覚える。
- 動物など作りたい生き物の体の作りに興味、関心をもつ。
- ただ、固まっただけでなく、焼いた後に硬くなることを知る。

◎ 主活動 「陶土でお皿を作る」「小麦粉粘土でお寿司を作る」

時刻	環境・準備	子どもの姿	援助・配慮
本時のねらい <ul style="list-style-type: none"> ・陶土や小麦粉粘土に触れ、その感触や性質の違いを感じる。 ・役割を決めて遊び、友達とのやり取りを楽しむ。 			
9:45	<場所> ・保育室 <準備するもの> ・陶土 ・小麦粉粘土（色付き）	○保育者の話を聞く。 ・今から始まる活動に期待を持ち <u>ワクワクした表情を浮かべる。</u> ・保育者が作る様子を見て、 <u>やってみたい</u> という意欲の言葉が出る。 ○陶土でお皿を作る。 ・陶土をよく練る。 ・ <u>陶土の感触を友達と共感し合う</u> ・思い思いに好きな形のお皿を作っていく。 ・友達の作る様子も見ながら、 <u>認め合ったり、模倣したり、方法を教え合ったりする。</u>	<ul style="list-style-type: none"> ・保育室に陶土を置き、<u>好奇心が高まる環境作り</u>を心掛ける。 ・一人ひとりの思いを受け止め、<u>やってみたい</u>と思えるような話し方や演出の工夫をする。 ・感じた思いを言葉にして表現できるような雰囲気作りをする。 ・上手くできない子は、嫌になってしまう前に、個別で方法を知らせていく。 ・一人ひとりの作っている物に対して、認める言葉を掛けることで、子ども達同士でも<u>認め合い</u>伝え合える雰囲気作りをする。
10:30		○小麦粉粘土が出来る様子を見る。 ・粉から固まり粘土状に変化する様子に興味を持ち、思いを言葉で表現する。 ○小麦粉粘土でお寿司をつくる。 ・色の付いた小麦粉粘土を見て、 <u>やりたい</u> という思いが膨らむ。 ・お寿司が出来た嬉しさや楽しさを伝え合う。 ・違う方法でお寿司を作る友達の姿に興味を持ち模倣する。 ○お寿司屋さんごっこをする。 ・子どもたちが自らお店屋さん、お客さんの役割を決め、ごっこあそびの準備をする。 ・「いらっしゃいませ」「これください」などのやりとりを友達や保育者と楽しむ。 ・買ったお寿司を陶土のお皿に並べ食べる真似をして楽しむ。 ・お寿司屋さんごっこをすることで、完成した喜びや満足感、また <u>やりたい</u> という思いを友達と共感する姿がある。	<ul style="list-style-type: none"> ・楽しい雰囲気を作りながら、混ざっていく様子や感触を豊かな言葉で表現できるように引き出していく。 ・イメージが膨らみやすいように、粘土に絵の具で色を付けたり、お寿司の手本を見せ意欲を高めていく。 ・互いに<u>どんなお寿司を作ったのか</u>興味を持てるような言葉かけや見て回れるような環境を作る。 ・一人ひとりの気持ちの状況に合わせ、必要に応じた言葉や方法を知らせていく。 ・子ども達の動線を考えながら、ごっこあそびの環境を整えていく。 ・子ども達のイメージを大切にしながら、更にイメージが膨らむような言葉を用いて、やりとりが深まるように関わる。 ・子ども同士の言葉や表情、雰囲気を見守り、時には、<u>やりとりが広がるような援助もする。</u> ・満足感や、またやりたいという思いに共感しながらし、次への期待に繋がる言葉を掛ける。
11:30		○片付けをする。 ・使った道具を前の机に集めたり、 <u>ごみ拾いをしたり、雑巾で床を拭く。</u>	<ul style="list-style-type: none"> ・子ども達と一緒にいき、片付けまでが活動であること、<u>部屋がきれいになる嬉しさ</u>をみんなで味わえるようにする。

《評価のポイント》

- ・陶土と小麦粉粘土の感触の違いを扱う中で感じていたか。
- ・作っていく中で、性質の違いを感じ、自分なりに工夫する姿が見られたか。
- ・友達と一緒に関わりながら、ごっこ遊びを楽しめていたか。

はな2組 28名 (男 13名、女 15名)

<子どもの様子>

- ・夏の遊びを友達と一緒に、存分に楽しみ、できるようになったことを伝えてくれたり、見せてくれたりすることが増えてきている。
- ・保育室内で育てていたおたまじゃくしがカエルになったのを友達同士で喜び合う姿があった。その反対に、死んだアカハライモリの様子をじっと観察し、死んでしまったことに悲しさを感じている子もいた。
- ・グループ活動では、保育者が介入しなくても、じゃんけんをして決めたり、話をする中で代表を決めたりできるようになってきている。

<ねらいたい子どもの育ち>

- ・飼育、栽培を通して、命の尊さを感じ、命の大切さを知る。
- ・たくさんの生き物や植物に触れ、観察する中で、興味・関心を持つ。



<ねらいを達成するための活動の流れ>

【あかはらいもり、めだか、おたまじゃくしの飼育】(4月~)
【ひまわりの栽培をする】(5月~)

- ・毎日、観察や水やりをする。
- ・エサやりを見学する。
- ・歌をうたったり、動きを真似たりして楽しむ。

- ・保育者がお世話をしている様子を見て、手伝いをしようとする。
- ・登園後や活動の間、自由あそびの時間に、観察をする。
- ・毎日の観察の中で、変化に気づき、保育者に知らせたり、友達と話をしたりして共感している。



【アカハライモリ、おたまじゃくしの観察画を描く】(6月)

- ・ビデオカメラを使って、テレビ画面に生体を映し出し、細かなところまで観察する。
- ・見て、感じた生き物を絵で表現する。



- ・拡大して見ることで、身体の模様や指の形など、今まで感じなかった細かな所に気づく。
- ・生き物の姿や形を捉えて、描く難しさを感じる。
- ・色々な技法を使うことで、描ける楽しさを感じ、もっと描きたい! もっと上手になりたい! と意欲的になる。



【水の中の生き物を描いたり、作ったりする】(8月22日)

- ・海、川、池の水の違いを知る。
- ・知っている生き物を描く。
- ・切ったり、貼ったりして水の中の生き物を作る。

- ・塩水、真水を舐めてみて、水の違いを感じる。
- ・水の違い、住んでいる魚の違いを知っていく中で、興味や関心が高まる。
- ・描きたい物を色々な技法を使って描くことを楽しむ。
- ・みんなで力を合わせて、保育室を水の世界に変える達成感を味わう。
- ・水の中の世界にいるような感覚を友達と共感する。

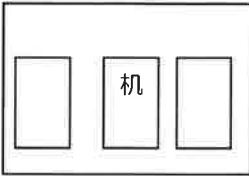
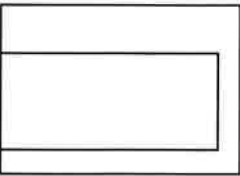


【魚市場見学】(10月)

- ・様々な本物の魚が並んでいるのを見学する。
- ・仕事をしている人と触れ合う。

- ・本物を見ることで、色々な魚や水の中の生き物への興味や関心が更に高まる。
- ・仕事をしている人と触れ合うことで、色々な仕事があることに気付く。

◎ 主活動 「水の中の世界を作る」

時刻	環境・準備	予想される子どもの活動	援助・配慮
本時のねらい <ul style="list-style-type: none"> ・水の中の生き物への興味、関心を持つ。 ・友達と一緒に描いたり、作ったりすることを楽しむ。 			
9:30	<場所> ・保育室	○保育室で体を動かして遊ぶ。 ・いろいろな動きを真似したり、決まった動きにチャレンジしたりする。	・子ども達が積極的にやりたいと思うことが出来るような導入を心掛ける。
9:45	<準備するもの> ・川の中の生き物(イモリ、ザリガニ、フナなど) ・紙 ・鉛筆  マグロ、タコなど ・青いビニール ・油性ペン(黒) ・新聞紙 ・ビニール袋 ・輪ゴム  ・青いビニールシート ・絵の具 ・雑巾	○塩水、真水の違いを知る。 ・見た目だけでは、分からないことに気付く。 ・実際に舐めてみて、塩辛いのが海だということを友達と共感し合う。 ○水の中の生き物の様子をテレビに映し、細かなところまでよく観察する。 ・生き物の様子をよく見て、色や形、大きさの違いを発見する。 ・ <u>気が付いたことを友達と伝え合う。</u> ○川の中の生き物を描く。 ・生き物の姿をよく見ながら、足の数、ひれの形の違いなどを意識して描く。 ・ <u>描いたものを友達と見せ合い、自分が何を描いたのかを伝え合う。</u> ○海の中の生き物を描く。 ・ <u>海の生き物を見て、自分が知っている生き物の名前を言ったり、特徴を友達や保育者に伝えようとする。</u> ・他の子が描く姿を見て、いいところを真似して描く。 ・ <u>描いたものを見せ合いながら、お話を作って、友だちに披露する。</u> ・ <u>魚の気持ちになってごっこ遊びをする。</u> ○色々な素材を使って魚を作る。 ・材料を使って魚を作っていく、難しいところは友達に聞いたり、力を合わせたりしながら作る。 ・魚の種類による違いを思い出しながら形を工夫しようとする。 ・ <u>絵の具の感触を手や足を使って味わう。</u> ・紙が段々と絵の具で色がついていくのを見て、もっともっと絵の具をつけようという気持ちになる。 ・自分たちで塗った紙が魚になり、配達されていくのを見て、 <u>満足感を味わう。</u> ○片付けをする。 ・友だちと協力して、部屋をきれいにする。	・子ども達が積極的にやりたいと思うことが出来るような導入を心掛ける。 ・子ども達が考えて、自発的な言葉が出てくるような言葉かけをする。 ・生き物をよく見て、気が付いたことを発表できる場を設け、みんなで思いを共有できるような配慮をする。 ・子どもが気が付いたことに共感し、気持ちを受け止めていく。 ・生き物の姿の細かいところにも意識をして描くことが出来るように声を掛けていく。 ・次の展開への流れをその場の雰囲気に合わせて臨機応変に対応する。 ・事前に作っておいた海の生き物たちをホワイトボードに貼っていき、生き物に関心を持てるようにし、細かいポイントを伝えていくことで、描きたい意欲が持てるようにする。 ・水の中を描いているという感動を子ども達が味わえるように、様々な素材や画材を用意する。 ・ <u>子ども同士での言葉のやり取りを楽しんでいる様子を見守る。</u> ・難しいと感じていたり、飽き始めたりしていると感じられる子には、個別に援助をしていく。 ・活動から活動への移行をスムーズに行えるように、動線や環境構成を整えておく。 ・ <u>絵の具や色々な素材の感触を楽しみながら、色々な表現が出来るように声掛けを工夫する。</u> ・部屋が自分たちの掃除によってきれいになっていくのを嬉しいと感じることが出来るように声を掛けていく。
11:00			

《評価のポイント》

- ・描いたり、作ったりすることを楽しめていたか。
- ・水の中の生き物への興味、関心が高まり、次への意欲へと繋げることができたか。

【5歳児】 つき1組 27名(男9、女18) つき2組 27名(男10、女17)

<1年のテーマ “すべての山に登ろう!” >

- ・自分の力を信じて、大きな山にも険しい山にも登ってみよう！山頂の景色も、険しい道中も、達成も失敗もどんな事もいつか自分の力になるよ！そして、みんなのまわりには友達がいるよ！みんなで協力すれば、大きな山にも登れるね！みんなで豊かに表現したり、気持ちを聞いたりすると楽しさ倍増だ！さあ、どんな山が待っているのかな。

<「幼児期の終わりまでに育ってほしい10の姿」をふまえての取り組み>

健康な心と体

- ・生活習慣カレンダー
- ・食育活動
- ・サーキットトレーニング
- ・体育遊び
- ・マラソン
- ・エアロビクス

自立心

- ・当番活動
- ・掃除
- ・週目標

言葉による伝え合い

- ・生活発表
- ・お話作り
- ・集会

社会生活との関り

- ・園外保育
- ・高齢者施設訪問
- ・行事

道徳性・規律意識の芽生え

- ・集団遊び
- ・集団生活
- ・グループ活動

協同

- ・協同せいさく
- ・クッキング

思考力の芽生え

- ・つくってあそぼう！
- ・選択あそび
- ・玩具
(ブロック・パズル)

**自然との関わり・
生命尊重**

- ・飼育物や植物の世話
- ・ぶり解体見学
- ・野菜の生長観察

豊かな感性と表現

- ・絵画造形活動
- ・剣道・日舞
- ・遊戯会
- ・歌
- ・楽器遊び

**数量や図形、標識や文字など
への関心・感覚**

- ・英語であそぼ！
- ・絵本
- ・玩具(積み木・ブロック等)
- ・手紙(メッセージ)

<4月からの成長>

意欲

年長クラスに強い憧れを持ち、早くつき組になりたいと、やっとな長になれた嬉しさと自信から、いろいろな事にチャレンジをしたり、少し背伸びをして頑張ってみたり、毎日繰り返す事にもコツコツと取り組んだりする姿が見られる。『チャレンジカード』では、マラソン・あやとり・けん玉・プール・鉄棒・なわとびの課題に挑戦している。達成すると嬉しそうにシールを貼り、次のチャレンジへと意欲を見せている。

自分から取り組み、高めようとする力

自分ができない事も友達の姿を見て自分も挑戦し、興味のなかったことにも友だちに誘われる事で、興味や関心を深める機会となっている。友達同士で教え合ったり、負けまいと努力をしたりと、いい刺激を受けあつてともに成長している。チャレンジカードの課題を友だちができた姿を見ると、うらやましく、また悔しい気持ちも芽生え、「どうやってやるの?」と自分からやり始め、できるまでくり返しくり返し取り組んでいる。

決まりの大切さ

おにごっこやサッカーなど、とにかく集団遊びが楽しくて面白くて、毎日毎日くり返し遊んでいる。保育者が介入しなくても自分たちで遊びを進められるようになったが、しばらくするとルールがあいまいになったり統一されず、文句がでたりして遊びが続かなくなった。しかしそこから、ルールの大切さや友達と折り合いをつける事、また自分たちで遊びを発展させていく面白さも学び取り、額に汗をびっしょりかきながら、園庭をかけめぐっている。

役に立つ喜び

園全体のごみを集めたり洗濯物を回収するなど、年長児としての責任感を持って当番活動に取り組んでいる。慣れないうちはやり方がうまくいかず、試行錯誤していたが、仲間同士で相談したり役割を分担したりするうちに手つきも慣れ、「ありがとう」「ごくろうさま」と声をかけられ笑顔で保育室に戻ってきている。また、たてわり保育も行っており、小さい子とのふれあいを通して、思いやりの気持ちや自尊心を育てている。



みんなのために
きれいにしなきゃ！



オクラって
こうやってなるんだ～
知らなかった！



ドキドキするけど…
言ってみよう！



保育園のごみ集めは、
ぼくたちに任せてっ！

つき1組 <ねらいたい子どもの育ち>

- ・ 不思議に感じたり、面白いと思うことを遊びに取り入れ、自分なりに表現することに取り組む。
- ・ 自然の恵みの食材や調理する人への感謝の気持ちを育み、食への興味や関心を持つ。
- ・ グループや友達と話し合い、力を合わせながら活動する。

<ねらいを達成するための活動の流れ>

【野菜の苗植え】

- ・ 自分で世話をする野菜を決め、グループを作る。
- ・ 仲間と一緒に、野菜の世話をす

- ・ 友達と一緒に責任感を持って、野菜の世話をし、収穫を期待する。実がなるように、どのように世話をしたらよいかを調べたり、相談する。
- ・ 野菜の生長の様子を観察したり、変化に気づいていく。



【食育活動】

- ・ 味噌汁作り・米とぎ・トマトソース作り・包丁体験
- ・ お泊まり保育（カレー野菜切り、朝食作り）

- ・ 友達と役割分担をしたり、話し合ったりしながら、協力して一緒に作る事を楽しむ。
- ・ 安全面に気をつけながら作る。
- ・ 育てたり、作ってくれた人へ感謝の気持ちを持つ。



【模写】

- ・ 野菜をよく観察し、描いてみる。
- 【クッキング】～ミネストローネ
- ・ 友達と協力して、スープを作る。

【模写】

- ・ 野菜をよく観察することで発見した事や気づいた事を絵で表現する。

【クッキング】

- ・ グループで話し合い、役割を分担して協力し、友達と作ったという達成感を味わう。



【野菜の世話】

- ・ 収穫を楽しみ、やがて枯れていく様子や種の収穫につながる事を知る。

【食育】

- ・ こうやればできるんだ、という工夫する心が育つ。
- ・ 感謝の気持ちと自分の役割への責任を持つ。



僕たちが育てたピーマン
美味しいよ～♪

- ・ 友達と一緒に考えたり、相談し合いながら活動をする。
- ・ 育てた物や作った物に愛着を感じる。
- ・ 食事が健康や成長につながる事を意識し、感謝の気持ちを持つ。

◎主活動「夏野菜の模写」「クッキング～夏野菜のミネストローネ」

- 本時のねらい ・実物をよく見て、絵で表現することを楽しむ。
- ・自分達で育てて食べるということの嬉しさ、楽しさを感じる。
 - ・クッキングを通してグループで話し合ったり協力をしたりして、友達と一緒に作る達成感を味わう。

時刻	環境・準備	予想される子どもの活動	援助・配慮
9:45	場所「保育室」 <準備するもの> ・収穫した野菜 ・まな板、すべり止め ・包丁	○夏野菜の模写をする。 ・育ててきた夏野菜を見て、 <u>描きたい思いが表情や言葉で表れる。</u> ・匂いを嗅いだり、触れて感触を確かめようとする。 ・細かい部分にも <u>気づき、描こうとする。</u> ・輪切りにした野菜を見て、 <u>気づいたこと、感じたことを思い思いに口ににする。</u> ・これまでの成長の過程を <u>伝え合う。</u> ・出来上がった絵を見ながら <u>達成感を感じたり、描いてみた感想を伝え合ったりする。</u> ・他の食材への <u>興味関心が広がる</u> 様子がある。	・収穫した野菜を一緒に見ながら、模写をすることに期待が持てるよう話をする。 ・それぞれの野菜の特徴や感触についても触れ、さらに <u>関心が深まるようにする。</u> ・一人ひとりの <u>気づきや発見を受け止めて共感し、子ども達同士で伝え合う様子を見守る。</u> ・子ども達の描きたいという気持ちが膨らむように話をしていく。 ・形や模様、色合いなど、細かい部分まで意識して描けるような言葉がけをしていく。 ・工夫していることやその子なりに頑張っている所を認め、言葉にして誉めることで自信に繋げていく。 ・実物を見ながら描くということの難しさを感じながらも、子ども達自身が考えて描き進めていけるような対応を心がけていく。 ・時間を決めることで描き終わりの見通しがつくようにする。
10:30	<準備するもの> ・まな板、すべり止め ・包丁 ・カセットコンロ	○クッキングの仕度をする。 ・リボン結びなど難しい部分は友達同士で行う。 ・手洗い、消毒をし、班ごとに席につく。	・自分で身支度する姿を見守りながら、難しい部分は友達同士で手助けし合えるよう声をかける。
10:45	・鍋 ・材料	○調理員の話聞く。 「ミネストローネ作りについて」 ・話を聞いて、クッキングへの期待が高まる。 ○ミネストローネ作りをする。 <野菜を切る→鍋に入れる→味付けをする> ・役割は班ごとに話し合い決める。 ・ <u>自分の思いを出せる子とそうでない子がいる。</u> ・調理していく過程での食材の見た目の変化、匂いに興味を持つ。 ・自分達の給食になることに期待感が高まる。	・子ども同士で話し合う姿を見守りながら、それぞれが自分の思いを伝えたり、折り合いをつけたりできるよう配慮する。 ・包丁、コンロを使う際の約束や気をつけることを一緒に確認し、 <u>子ども同士で意識できるようにしていく。</u> ・楽しい雰囲気の中で、 <u>姿勢に気をつけたり、正しく道具を使おうという意識に繋がるよう言葉かけたり援助をしていく。</u> ・作ってくれている人、食事に関わる人に <u>感謝の気持ち</u> が持てるような言葉がけをしていく。
11:45		○片付けをする。 ○保育者の話を聞く。	・片付けまで自分達の手で行う意識が持てるよう関わる。 ・今回の活動から得られた思いや達成感、興味の広がり共感し、 <u>次回への活動に期待が繋がるような言葉がけ</u> を心がける。
12:00		○給食の仕度をする。 ○給食を食べる。 ・味や出来上がった感想など、友だちと <u>言葉を交わし合う。</u>	・栽培や調理を振り返ったり話題にしたりして、 <u>それぞれの思いを共有</u> できる雰囲気作りをする。

≪評価のポイント≫

- ・育ててきた野菜に愛着を持ち、気づいたことや感想を自分なりに表現して友だち同士で伝え合うことができていたか。
- ・調理する楽しさ、大変さを感じ、作ってくれる人への感謝の気持ちを持つことができていたか。
- ・友達と話し合ったり協力したりする中で、自分達で作ったものを食べる喜びや達成感を十分に感じる事ができたか。

つき2組 <ねらいたい子どもの育ち>

- 自分の力を信じ、友達の真似をしたり競争心を持ったりしながら、チャレンジをする。
- 自分の気持ちをコントロールし、自分が頑張れば、目標が叶うと信じて努力する力を育む。
- 友達と目標にむかって力を出し合い、やり遂げた達成感を味わう。

<ねらいを達成するための活動の流れ>

【プールあそび】

- 水の感触を思い出しながら、少しずつ水に慣れていく。
- 水に顔ををつけたり、伏し浮きに挑戦してみる。

- 水に触れる心地良さを味わい、徐々に水の中で体を慣らしていく。
- 自分ができていることを水の中で楽しむ。
- 保育者や友達の様子を見て、まだできない事へ挑戦してみる。



【目標を立てる】

- 自分の力をふまえながら、目標を立て、意欲を持つ。

- 今の自分ができている事と、できるようになりたい事との折り合いをつけながら目標をたて、自分で決めた目標にむかって、頑張る。



【プールあそび】

- 保育者や友達と一緒に課題に挑戦する。
- 自分なりに水遊びを楽しむ。

- 不安な気持ちとできるようになりたい気持ちが揺れ動く中で、自分の力を信じて課題に取り組んでみる。
- 楽しく水に触れあう遊びから、水への抵抗を少しずつ減らし、上の段階の事柄に挑戦してみる。



【プールあそび】

- 友達と同じ事に挑戦してみる。
- 自分の立てた目標の事柄に取り組む。

- 友だちの様子を見て、競争心を持ちながら課題にチャレンジしてみる。
- 自分に自信を持ちながら、できることをイメージしながら取り組んでみる



目標まであと少しだ...!



自分で決めた目標だから、
頑張るぞ!

◎主活動「集団遊び・プール遊び」

○本時のねらい			
<ul style="list-style-type: none"> 十分に体を使って集団遊びやプール遊びを楽しみながら、目標にむかって挑戦をする。 協力をしたり、励まし合ったりして、友達と一体感や達成感を味わう。 			
時刻	環境・準備	予想される子どもの活動	援助・配慮
9:30	〈場所：保育室〉	○着替える。 ・水着に着替え、脱いだ衣類をきちんと畳む。 ・今から始まる活動に <u>期待感を持つ。</u>	<ul style="list-style-type: none"> 自分のことは自分でやろうとする姿を見守り、丁寧にできるような声掛けをする。 あそびの世界に入り込んでいけるような雰囲気作りや<u>期待が膨らむような言葉かけ</u>をする。
9:45	〈場所：屋上〉 〈事前の準備〉 ・屋上の芝生に水を撒いておく。	○集団遊びをする。 (鬼ごっこ) ・保育者の話を聞いて、楽しんで体を動かしている。 ・ルールが変わっていくことを理解し、 <u>考えながら動いている。</u> (水運びリレー) ・チームに分かれて競争する。 ・友達を応援したり、 <u>自分の出番を心待ちにしたり</u> している。 ・意見の相違で、トラブルになっている。	<ul style="list-style-type: none"> 体を動かしながらのびのびとあそびが楽しめるように、演出や声掛けを心掛ける。 全体の様子を見てルールに変化をつけ、また子ども達からの声を拾いながらあそびを更に発展させていく。 チームで競い合う楽しさを感じながら、仲間と協力をして<u>やり遂げることの達成感</u>を感じられるような環境作りを心掛ける。 話し合っている様子を見守り、お互いの意見に折り合いをつけられるような声掛けをする。
10:15	〈場所：屋上プール〉 〈事前の準備〉 ・足洗い用の桶に水を入れておく。 ・水温や気温を計り、消毒を適量入れる。	○シャワーを浴びる。 ○プール遊びをする。 ・プールでの <u>約束事を守って</u> あそんでいる。 ・水に顔をつけることや伏し浮きをすることを怖がる子もいる。 ・保育者の手助けをしてもらいながら、 <u>苦手なこともやってみようとする。</u> ・友だちの <u>頑張っていることを見て、認めたり、応援したり</u> する。 ・チームに分かれ、 <u>友達と協力をして競い合う。</u> ・同じチームの友達と <u>作戦を話し合う。</u>	<ul style="list-style-type: none"> 約束事を守り、安全に楽しく遊べるようにしっかり見守る。 水に触れる心地よさ、面白さを保育者も共に楽しみながら、徐々に水の中で体を慣らしていけるようにする。 苦手なことにもやってみようという気持ちになれるよう、<u>友達と励まし合い、一緒に挑戦できる環境作り</u>を心掛ける。 子どもたち同士で、仲間の大切さに気づくよう、共感する言葉や励ます言葉を保育者が見本となって知らせていく。 自分の思いを伝えたり、受け入れたり、相違を伝え合うことで、<u>お互いを認め合いながら仲間としての関わり合い</u>が出来るように、様子を見守りながら配慮する。
10:45		○プールの後の後始末をする。 ・シャワーを浴び、タオルで髪や体を拭き、水着を絞ってプールバックにしまう。 ・女兒は自分の髪の毛のゴムや <u>友達のゴムを取っている。</u> ○着替えをする。 ・着替えをし、休息をとり、水分補給をする。	<ul style="list-style-type: none"> プール遊びを十分に楽しんだことを共感しながら、後始末の様子を見守り、<u>友だち同士で手助けし合えるように</u>声を掛ける。 身の回りの物をきちんと整えられるよう様子を見守り、声を掛けていく。

《評価のポイント》

- 体を使ってあそび楽しさや難しさを感じながら、自分の目標に向かって意欲的に取り組み、達成感や有能感を感じることが出来たか。
- 友だちと協力する中で自己を発揮し、仲間との協調性、仲間の大切さへの意識が深まったか。

【 児童クラブ 】

明照児童クラブは牟呂小学校に通う卒園児を中心とし、乳幼児期を過ごし、情緒の安定がはかれる保育園という環境の中、年上の子や保育園の園児たちと毎日一緒に楽しく過ごしています。

◎明照児童クラブの特徴

子どもたちが安全で安心して過ごすことができるだけでなく、1年を通じてさまざまな経験・体験を積極的に行っていくことを大切にして、それらを通じて子どもたちのさらなる成長を促しています。

◎開設時間

平日 下校後（小学校休業日は午前7時から）～午後5時30分（延長保育は午後7時まで）
土曜日 午前7時～正午（なかよし保育の日は午後4時まで）

◎人数および子どもの様子

★第1明照児童クラブ 小学2年生および3年生 53名（男39名、女14名）

- ・2年生は活動を見ても幼さが残るものの、1年生には先輩らしく振舞うことが出来る子も見られるようになってきた。
- ・3年生はクラブの活動においても中心となる学年となり、下の学年の子をまとめさせるなどしてリーダーとして行動が出来るように練習中です。

★第2明照児童クラブ 小学4年生～6年生 30名（男子12名、女子18名）

- ・下級生の世話をしたり保育園の小さなクラスでお手伝いしたりするなど、よい手本となる子が見られる。
- ・異学年の子どうし積極的に関わる姿が見られる。
- ・保育園の園児を含めた子どものリーダーとしての自覚と責任感が持てる子も増えてきている。

★第3明照児童クラブ 小学1年生 34名（男子16名、女子18名）

- ・まだまだ保育園で過ごした気分が抜けず、指導員に甘えたり、自分勝手な行動から周りに迷惑をかけることもあるが、一歩ずつ自立への階段を上っている様子が見られるようになってきている。

※現在夏休み中につき児童クラブで過ごす1日の生活の中で、普段とは違う生活や環境となるが、気持ちを切りかえて、個人的なことだけでなく手伝いなどの集団活動においても自主的に取り組む姿が見られる。

◎1日の活動の流れ

• 下校…各クラブ室に戻ってきます。ロッカーに荷物をしまい、手洗いなどを済ませて次の活動を行います。

• 宿題…宿題をします。すぐに終わる子、真剣にすべての宿題を終わらせる子などさまざまです。宿題を児童クラブで行うかは自由となっているので、お家で行う子も多いです。



• 選択あそび…各部屋、園庭、屋上などに分かれて自由に遊びます。
保育園の小さな子のお世話やお手伝いも積極的に行います。



• お帰り…お迎えが来たら、挨拶をして帰ります。

• 掃除…各クラブ室などをみんなできれいに掃除をします。
上級生のリーダーが、指定された掃除場所での掃除内容の割り振りを行います。



• おやつ…午後5時30分におやつを食べます。
今日のおやつは何でしょう??



• 延長保育…午後6時30分からは保育園の延長保育の子どもたちと一緒に過ごし、お迎えを待ちます。



◎1年の流れやイベント

4月 お花見

毎年恒例のお花見。満開の桜の下でお弁当を食べます。



5月 春の遠足

バスと電車に分かれて公園などに出かけます。



6月 児童クラブ主催 アイスクリームショップ&ゲームコーナー 豊川リレーマラソン参加

保育園の行事に合わせて、児童クラブの部屋がアイスクリームショップやゲームコーナーに大変身！
お金のやり取りや接客を行います。



7月 プール&水あそび

保育園のプールで泳いだり、水遊びのできる公園やプールに出かけます。



8月 保育園に泊まろう、ボウリング大会、社会科見学など
夏休み中は朝から児童クラブへ。たくさんのイベントが行われます。

10月 豊橋まつり、サンセットリレーマラソン参加

リレーマラソンはチームで力を合わせてフルマラソンを走ります。



11月 いもほり

今年はさつまいもの調理にも挑戦します。



12月 カレー屋、もちつき、クリスマス会

冬休みにも楽しいイベントがいっぱいです。

1月 書初め、スケート

書初めは今年の抱負を書きます。目標を持って、新しい1年を過ごそうね。



2月 保育園の遊戯会に参加

たくさんのお客さんの前で演技をします。



3月 おわかれ遠足、児童クラブ卒業式

たくさんの思い出でが詰まった児童クラブも卒業です。



☆子どもたちは、日々の生活やこれらの活動を通じて、大きくたくましく成長していきます

◎本日の主な活動内容

24 時間テレビ連動イベントに参加する演技のリハーサルを行う。

◎活動のねらい

- ・チームで目標に向かってがんばることで、仲間とおしの絆や連帯感が生まれる。
- ・演技（表現）をする楽しさや緊張感を味わい、目標を達成する難しさを克服し達成感や満足感を得る。
- ・仲間や友達の演技を見ることにより、次は自分も参加したいという意識が生まれる。

◎ねらいを達成するための活動の流れ

【話し合い】（6月上旬）

- ・子どもたちと話し合いメンバーをつくる。
- ・チーム分け、演技内容を決定する。

- ・本番の活動内容およびそこまでの過程を説明し、理解したうえでメンバーをつくる。
- ・子どもたちの能力などを考慮し、負担のない演技内容、チーム分けを行う。



【練習】（7月上旬～）

- ・個人で練習する。
- ・各チームで集まり、練習をする。
- ・練習をしている姿を見学する。

- ・演技（表現）をする楽しさを感じる。
- ・チームとして演技をする難しさを感じながらも、教えたり、助け合いながら上達を図る。
- ・チームで練習をしていくことで、達成意欲の向上を図る。
- ・練習する姿を見ることで、“やりたい”という気持ちが生まれる。



【リハーサル】（8月22日）

- ・本番と同じ流れで通し練習を行う。
- ・見られることの練習として、演技の見せあいと見学会を行う。

- ・本番同様に演技を行っていくことで、本番の流れを理解し雰囲気を感じる。
- ・見られることの緊張感を感じながらも、自信をもって演技をする。



【発表】（8月26日）

- ・イベントにて演技の発表をする。

- ・たくさんの人前で演技をする楽しさや緊張感を味わう。
- ・個人およびチームとしての達成感を得る。

《評価のポイント》

- ・緊張感の中でも楽しく演技をすることが出来たか。
- ・自分の演技の出来とともに、チームとしての達成感を味わうことが出来たか。
- ・活動を通じ、有能感が得られ、次につながる事が出来たか。

◎本日の主な活動内容

ほしくみおよび各クラスの主活動のお手伝いと子どものお世話をする。

◎活動のねらい

- お手伝いや小さな子のお世話をすることで、責任感を持って活動する経験ができる。
- 人の役にたつことでの達成感や満足感を得る。

◎ねらいを達成するための活動の流れ

【手伝いとお世話の練習】

(6月上旬～)

- 希望者および当番で、保育園のクラスや先生の手伝い、小さな子のお世話をする。

- 子どもたちには自分たちの遊びの延長になることなく、手伝いやお世話がしっかり出来る。
- 手伝いやお世話の難しさや楽しさを感じる。



【お世話係】(7月下旬～)

- ローテーションで手伝いと小さな子のお世話をする。
- 絵本の読み聞かせなども行う。

- “人の役に立つ” ことで満足感を感じる。
- 手伝いやお世話の大切さに気づき、自分たちから積極的に行うようになる。
- お世話をする子の年齢によって、手伝う内容も変わってくることを感じる事が出来る



【ほしくみや各クラスのお手伝い】

(8月22日)

- ほしくみの主活動の手伝いおよびほしくみの子のお世話をする。
- その他のクラスの先生の手伝いや子どものお世話をする。

- ほしくみの主活動のなかで責任感を持って自分の役割を果たすことが出来る。
- 言われたことだけでなく、自分で考えて積極的に行動出来るようになる。



【継続的な手伝いとお世話】

(9月以降)

- 継続的に手伝いとお世話を行う。

- 自分たちで積極的にお手伝いやお世話にでかけ、成果をあげることが出来る。

《評価のポイント》

- 先生に言われたことをしっかりと行うことが出来たか。
- 園児と積極的にかかわることが出来たか。
- 言われたことだけでなく、自ら考えて手伝いやお世話をすることが出来たか。

○本日の主活動

- ・演技本番と同じ流れでの通し練習を行う。
- ・見られることの練習として、人前で演技の発表をする。

時刻	環境・準備	予想される子どもの活動	援助・配慮
13:00	<p>〈場所〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・遊戯室 <p>〈事前に準備しておくもの〉</p> <p><u>ダンスチーム</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・BGM ・衣装 <p><u>トーチトワリングチーム</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・トーチ ・長棒 ・旗 ・BGM 	<p>○今日が本番と同じ流れで行う練習であることを伝える。</p> <p>○見られることの練習（リハーサル）として人前で演技を行うことを伝える。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本番直前ということもあり、緊張感を持って話しを聞く姿がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・本番直前練習であることをしっかりと伝え、意欲を高める。 ・欠席者がいた場合、その対応について説明し、本番でも同様であることを伝える。
13:10		<p>○本番と同じ流れで演技を行う。</p> <p>○他のチームの子は観客となる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本番同様の順に演技を行って行く。（全4組） ・演技をする子を自然と応援する姿が見られる。 ・子どもの観客がいることで、集中力を欠いたり、照れてしまっってしっかりとした演技が出来ない子も見られる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・よい緊張感の中で演技が出来るよう、意欲を高める言葉がけを行ってからスタートする。 ・失敗やアクシデントがあっても、最初から最後まで必ず通して行っていく。 ・観客となる場合もふざけたり笑ったりせず、しっかりと演技を見ているように伝える。 ・指導員も本番同様の動き（曲だし、子どもの誘導など）を行い、確認していく。
13:45		<p>○総括を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本番に向けてやる気が高まる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・本番での持ち物や注意事項を伝え、伝わっているかを確認する。 ・本番に向けて意欲の高まる言葉がけを行い、よい雰囲気ですべて終了する。

地域貢献活動

子ども食堂「おとないさん」

「無料学習支援」

本園では以前より、障害児指定園として発達障害児等支援事業及び、児童クラブ内のフリースクールにて不登校児支援事業を行ってきました。さらに29年度より、地域貢献活動を行う理念のもと、「無料学習支援」及び「子ども食堂」事業を立ち上げ、豊橋市とも連携しながら取り組んでいく運びとなりました。

そして今回、これらの事業をすすめていくのにあたり、名古屋大学大学院教育発達科学研究科 永田雅子研究室と共同研究する機会を得ました。今後の予定としましては、臨床心理士資格を持つ大学院生が、定期的に本園を来訪して、分析・研究を重ねていきます。

これまで同様、地域の小・中・高・大学とも連携しながら、乳幼児期から大人になるまでの切れ目のない健やかな成長を見守るために、地域の実情やニーズに見合う方法等を模索しつつ、柔軟に対応出来る体制を築いていきたいと思ひます。

つきましては、当面の計画として別記のような形で行っていきたいと考えておりますので、ご理解・ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

こども食堂 おとないさん

- ★毎週水曜日 18:00頃～19:00頃 (木曜日は支援家庭限定)
- ★場所 明照保育園 2階プレイルーム
- ★費用 園児・学童家庭…保護者は500円、子ども250円
支援を必要とする子どもと友達は無料、保護者300円
- ★参加方法 職員室にて申し込み(同じ週の月曜日までに)
- ★定員 1日約20名
社会福祉法人 明照保育園
園長 中島 章裕
電話 0532-31-1419 Fax 0532-31-1499

水曜日の夜は

保育園で親子でたべよう!

- ★「保育園お迎え行ってからご飯作って片付けて…」あわただしい毎日の中で、週1回くらいはのんびりしてもいいのでは?
- ★「うちではなかなか食べてくれない…」なぜか保育園でみんな食べてると、バクバク食べちゃう子ども達!
- ★おしゃべりしながら一緒に食べませんか?

保育園の職員も加わりま〜す(o^o^o)

おとないさん

7月5日
(水)

★ハンバーグ・フカロニサラダ・
コンソメスープ&ライス★



★高野豆腐の卵とじ・ササミと
ごぼうのサラダ・味噌汁&ご飯



7月12日
(水)

7月19日
(水)

★筑前煮・ポテトサラダ・
すまし汁&ご飯



★カレーライス・
シーザーサラダ



7月26日
(水)

子ども食堂の様子



- 午後6時過ぎにお迎えに来る親子が始めに利用するようになった。「子ども食堂で食べた日は、帰ってからとてもものんびりできた」と喜ぶ声が聞かれた。
- 子ども食堂の日は父親と食べられないことを心配すると、「家で作っても、父親の帰りは遅いので一緒に食べられない。」という声が帰って来て、父親の分を持ち帰られるようにもした。
- 平常時間のお迎えの家庭も、1度帰ってから再び子ども食堂に来るといふ親子があり、家ではなかなか食べないという子も、ここではみんなで食べることでパクパク食べる子が多く、「うちではこんなに食べない」と驚く親の姿も見られた。
- 子どもだけでなく、食事しながら職員や保護者同士でも楽しい会話が弾み、「毎晩子どもと自分だけで息が詰まることもある」と漏らす家庭にとっては、週1回の子ども食堂はお互いの息抜き日としても活用されているようだ。

明照つばめっ子

未入園家庭への子育て支援だより

平成29年4月

おどひまいて〜

社会福祉法人 明照保育園
幼保連携型こども園
明照保育園

園長 中島 章裕

〒441-8093 牟呂中村町6-1

TEL 0532-31-1419

Fax 31-1499

URL <http://www.tcp-ip.or.jp/~meisyou/index.htm>

e-mail meisyou@tcp-ip.or.jp

子育て真っ最中のお母さん、そしてこれから子育てを考えている方へ
一緒に子育てを考えたり楽しんだりしませんか？

- ★私の子育てって、これでいいのかしら
- ★子どもにどう接したらいいかわからない
- ★子どものことで心配なことがあるんだけど...
- ★子育てを一緒にする仲間が欲しい
- ★保育園で遊んでみたいなあ



こんな思いをお持ちの方、どうぞ明照保育園にいらしてください。

そして一緒に遊んだりお話ししたりしながら、楽しく子どもを育てていきましょう！

明照保育園では、子育てを応援するために、次のことを行っています。ぜひご参加下さい。

初めて参加する時に登録していただきます。子どもさんは毎回名札シールを付けて参加します。

※ 子育てをこれから予定している方も、お気軽にご相談下さい。お待ちしております！

【園庭開放】9:30~10:45

園庭や遊戯室で、親子で自由に遊んだり、子どもさんを見ながら、お母さん同士も気軽に交流をしたりします。

時には保育中の園児と一緒に遊んだりもします。(右の表を参照)

【親子ひろば】9:30受付 9:45~10:45

園庭開放と同じ日に行い、同じ年齢の子ども同士で発達に合った活動を楽しみます。定員は、活動により15~20組親子の間で受け入れます。バスでの活動以外は予約の必要はありません。(右の予定表を参照)

【行事公開・参加】◎

園の行事をご案内しますので、どうぞ見学に来て下さい。(右の表を参照)

【保育園内たんけん】◆

園内や子どもたちの様子等、どうぞご覧ください。(年3回...右の表を参照)

【育児相談】

育児について、お気軽に電話・メール等でご相談下さい。必要に応じて面談も致します。

【育児講座】

子どもさんの成長や子育てについて、専門の先生をお招きして講座を開きます。詳しいことが決まりましたら、『明照つばめっ子』や掲示板等でお知らせします。

【園の情報をインターネットで公開】 <http://www.tcp-ip.or.jp/~meisyou/index.htm>

【本園への入園を希望される方へ】

入園を希望する年度の前々年度の9月より相談を受け付けます。(入園申込ではありません)
また、来年度入園予定で手続きを進めているご家庭への説明会を9月初旬に実施します。
日程等は7・8月の園庭開放の時に、お問い合わせください。

☆園庭開放&親子ひろばの予定

月日	内容	月日	内容
5/10	園庭開放 親子ひろば【1・2歳児】 *みんなでおやつ(おやつ代100円必要)	10/25	園庭開放 親子ひろば【1・2歳児】 *楽しくつくろう
5/17	園庭開放&◆園内たんけん 親子ひろば【0歳児】 *みんなでおやつ(おやつ代100円必要)	11/15	園庭開放 親子ひろば【次年度0歳児】 *楽しく作ろう
6/7	園庭開放 親子ひろば【1・2歳児】 *楽器を鳴らそう	11/22	園庭開放&◆園内たんけん 親子ひろば【0歳児】 *楽しく作ろう
6/14	園庭開放 親子ひろば【0歳児】 *おおきくなったね	12/13	園庭開放 親子ひろば【次年度0歳児】 *楽器を鳴らしましょう
6/21	園庭開放&◆園内たんけん 親子ひろば【1・2歳児】 *おおきくなったね	12/20	園庭開放 親子ひろば【1・2歳児】 *みんなで遊ぼう
6/28	園庭開放&水あそび	1/9(火)	親子ひろば【全年齢児対象】 *バスに乗って創造大へあそびに行こう 9:30出発~12:00頃※予約が必要です
7/5	園庭開放&水あそび	1/16(火)	
7/12	園庭開放&水あそび	2/6(火)	
7/26	園庭開放&水あそび	2/28	園庭開放 親子ひろば【次年度0歳児】 *親子であそぼう
9/13	園庭開放 親子ひろば【0歳児】 *みんなであそぼう	3/7	園庭開放 親子ひろば【0歳児】 *楽器を鳴らそう
9/20	園庭開放 親子ひろば【次年度0歳児】 *はじめまして 自己紹介	3/14	園庭開放 親子ひろば【次年度0歳児】 *みんなでおやつ(おやつ代100円必要)

【準備するもの】毎回、お子さんに必要なもの(オムツ・飲み物等)はご家庭でご準備下さい。

0歳児(ねんねする子)はバスタオルをご持参されると良いと思います。

※貴重品等 unnecessaryなものは持ってこないようお願いします。

※天候や園の活動等により、予定は変更されることもありますのでご了承下さい。

※安全に楽しく遊べるよう、子どもさんからは目を離さないようお願いいたします。

※駐車場が限られていますので、来園はなるべく徒歩または自転車をお願いいたします。

車の方で、在園児さんのいる方は、「栗林床屋前駐車場」へ停めてください。

大型店舗や路上への駐車はできません。

※夏の間の水あそびに参加する方は、水あそび用オムツまたはパンツ等の準備して下さい。

☆平成29年度の行事予定です。

- ◎ 8月26日(土) 夕涼み会 午後5時半から
となりのお寺(普仙寺)境内にて踊ったり夜店を楽しみます。
- ◎ 10月14日(土) 運動会 (神野埠頭の公園にて)
親子種目(11:30前後)に参加した後で風船やおみやげをお渡しします。
- ◎ 11月11日(土) 明照まつり 10時~12時頃
- ◎ 12月9日(土)~10日(日) 作品展 9時~15時頃
テーマを決めて園児の作品や絵を飾ります。
- ◎ 2月25日(日) ゆうぎ会 9時~15時頃
となりの牟呂小学校体育館にて行います。

子育て支援・年齢別ひろばの様子



園庭開放

園庭や遊戯室にて親子で自由に遊びます。子どもさんはお友だちの様子を見て刺激を受けたり、お母さん同士も情報交換をしたりしています。



在園児との交流

時には保育中の園児と一緒に遊んだり、様子を見たりします。在園の子ども達の様子を見ることで、親子とも安心して入園を迎えることができます。





楽しく水あそび

開放的なテラスで水あそび♪プールデビューの子もたくさんいますよ。まずは温かいお湯プールで慣れていきます。まだプールには入れないお友だちも、見学して雰囲気味わいます。遊戯室も開放します。



園内たんけんへ Go!!

年に3回園内見学日を設定しています。保育環境はもちろん、園児が生き生きと生活する姿、保育教諭の園児への関わり、園の雰囲気が伝わります。(参加者の声より)



親子ひろば（0歳児）

同じ年齢の子ども同士で発達に適した活動を楽しみます。この日は、お母さん同士の交流を楽しくゲーム感覚で行い、テラスでおやつを楽しみました。まだおやつを食べたことのない子も、これからどんな物を食べたり飲んだりしていくのかを、お家の方に試食して頂いたり、情報交換をしたりしました。

親子ふれあひあそび・絵本の読み聞かせ

園庭開放や親子ひろばの最後には、ふれあひあそびや絵本の読み聞かせを親子で楽しめます。この時期に親子で楽しむことがアタッチメント（愛着関係）形成につながるので、大切にしています。



「あやくる」

クッキング・ダンス・おもちゃ作り・
集団遊び・マジックショー・救命救急講習・
リフレッシュヨガ

延長保育を利用して、よそのお母さん
と関わる時間がないお母さんにとって、
「あやくる」は何気ないおしゃべりができ
る楽しい時間になっています。



★保護者支援活動★～月1回のなかよし保育の日に実施～

- 親としての喜びとともに、思い通りにいかないことでのストレスも味わう子育て。親だけの自分をひととき解放し、リフレッシュする時間をつくります。子どもの遊びや活動の楽しさ・難しさを経験することで、子どもだった頃のワクワクする気持ち呼び覚ましたり、保護者同士の交流を深めたりします。
- 時には子育てを中心に生きる知恵や知識を学び、生活に活かします。



「あやくる」の活動は、どれも職員がすすめていきます。保育園の先生と交流する機会でもあります。



「こどもの遊びって結構ハードなんだ！」と汗をかきながら楽しむ姿はまるで子どものよう。

ー1カー



「ペットボトルでこんなのできるんだ」あれこれとアイデアを出す生き生きとした姿も見られます。



給食の先生が、保育園でのおやつレシピをクッキングで紹介します。作ったおやつを試食しながらカフェタイムも。